2 教養科目 (外国語科目)

	英語 I (A)	担当者   小林朋子
授業科目	〔履修年次〕 1年	授業外対応 適宜対応 (要予約)
	〔学期〕 前期 〔単位〕 1	〔必修/選択〕 必修(注) 〔授業形態〕 演習
テーマ及び概要	【概要】英語のリスニング、文法、読解を総合的語表現のリスニングや音読練習、基本的、発展的って英語の語順で読む読解法)を意識した速読理	合的に鍛えることで、スピーキングの基礎力を養成する。 的に学習することで、バランスのとれた英語力を養います。使用頻度の高い英的な文法事項の確認、「フレーズ・リーディング」(意味のまとまりごとに区切理解の練習などを通して、総合的コミュニケーション能力の向上を目指します。 相手の情報や考えを理解でき、プロソディー面は理解に支障がない発音で情報
(1)テキスト	(1) 角山照彦、Simon Capper 著 『Le	et's Read Aloud & Learn English 音読で始める基礎英語』 成美堂 刊
(2)参考文献	(2) 授業で随時紹介します。	-
授業スケジュール	第 1回 オリエンテーション 第 2回 Please to meet you. <be 動詞=""> 第 3回 Do you remember me? &lt;一般動詞 第 4回 I spoke to Ms. Hayashi yesterday. 第 5回 When does the meeting start? &lt;美第 6回 Can you meet me at the airport? 第 7回 Feel free to ask me anytime. &lt;文で第 8回 I'm thinking about quitting my job 第 9回 I'll give her your message. &lt;未来)第 10回 I haven't received the latest figure 第 11回 The cafeteria is closed today. &lt;受到第 12回 We expect higher sales in China. 第 13回 I'd like to check in. &lt;助動詞 2&gt; 第 14回 How about going to the theater?</be>	7. <一般動詞(過去)>  疑問詞>
授業外学習(予習·復習)	適宜指示する。	
成績評価の方法	筆記試験(70%)、提出物(10%)、授業への取	対組み態度(20%)で評価する。
実務経験について	なし	

## (注) 教職必修,日本語日本文学専攻

	英語 I (A) 担当者 松元 貴子					
授業科目	「履修年次」 1 授業外対応 授業後、またはメールにて対応します。					
	〔学期〕  1    〔単位〕  1    〔必修/選択〕  必修     〔授業形態〕  演習					
	【テーマ】英語を総合的に学び、主にライティイングとスピーキングを通して、表現する力を鍛える。					
	【概要】ライティング活動を通して、アイディアの出し方、パラグラフの構成力を習得する。					
テーマ及び概要	スピーキング活動を通して、英語の音声を正しく理解し、実践する。また、語彙力・表現力を習得する。					
) 一マ及い既安	ペア活動・グループ活動を通して、相手に伝わる、そして、相手を動かす表現を習得する。					
	【到達目標】構成力のあるライティングができる。自分の書いた文をもとに、正しい音でスピーキングができる。					
	ペアワークでの会話を3分以上続けることができる。					
(1)テキスト	(1) プリントを配布する。					
(2)参考文献	(2) 適宜紹介する。					
	第 1回 オリエンテーション					
	第 2回 How to start a conversation & how to introduce myself.					
	第 3回 How to organize a paragraph & Brainstorming.					
	第 4回 Explain about myself & people 1					
	第 5回 Explain about myself & people 2					
	第 6回 Explain about myself & people 3					
	第 7回 Let's talk about myself and people					
授業スケジュール	第 8回 Describing about my experience 1					
	第 9回 Describing about my experience 2					
	第10回 Describing about my experience 3					
	第11回 Let's talk about my experience					
	第12回 Presentation project preparation 1					
	第13回 Presentation project preparation 2					
	第14回 Presentation project preparation 3					
	第15回 Preparation and review for final					
授業外学習(予習・復習)	適宜指示する。					
District from a 1 2 3	授業内での活動への取り組み(25%) + ライティングなどの提出物(25%) + グループ発表・プレゼンテーション発表					
成績評価の方法	(50%)					
実務経験について						
ノベルカルエルスパー フィ・し						

<sup>(</sup>注) 教職必修, 日本語日本文学専攻

	英語 I (B)	担当者 新福 豊実					
授業科目	〔履修年次〕 1	授業外対応 授業開始前、あるいは終了時、他の時間帯は要予約					
	〔学期〕 前期 〔単位〕 1	〔必修/選択〕 必修(注) 〔授業形態〕 講義					
テーマ及び概要	【テーマ】 英語を「読む」「聞く」「話す」「書く」技能の基礎を確認し、リスニングおよびスピーキング能力の向上を図る。  【概要】日常の様々な場面を想定し、ペアワークやグループワークで基本的な会話の練習を行い、コミュニケーション能力の向上を目指す。あわせて、リスニング、発音、文法を総合的に学習しバランスの取れた英語力を養成する。  【到達目標】日常の様々な場面で、相手の発言を理解し、英語で的確に応答することができる。						
(1)テキスト	(1) Marc Helgesen et al. [Englis	sh Firsthand (5th Edition) Success』 Pearson Longman					
(2)参考文献	(2) 授業時に適宜指示する。						
授業スケジュール	第 1回 Class overview: Learning goals and strategies (Unit zero) 第 2回 Introduce yourself to a partner/Talk about your hobbies and interests (Unit 1) 第 3回 Describe the clothes you are wearing/Talk about fashions you enjoy (Unit 2) 第 4回 Give advice about staying healthy/Ask about your partner's habits (Unit 3) 第 5回 Ask for and give directions to a place/Identify places in your community (Unit 4) 第 6回 Describe different objects/Listen to your partner describe an object (Unit 5) 第 7回 Talk about your goals/Ask about your partner's goals (Unit 6) 第 8回 Review I 第 9回 Talk about your past experiences/Ask your partner about past experiences (Unit 7) 第 10回 Describe animals and nature/Ask questions about animals and nature (Unit 8) 第 11回 Talk about things you can and can't do/Ask your partner about what he or she can and can't do (Unit 9) 第 12回 Ask about likes and dislikes/Invite someone to do something you like with you (Unit 10) 第 13回 Talk about rules and laws in other countries/Describe what people in your life should or shouldn't do (Unit 11) 第 14回 Make up a story and tell it to your partner/Tell a story you know to your partner (Unit 12) 第 15回 Review II						
授業外学習(予習・復習)		。その他の授業外学習については毎時、具体的に指示する。					
成績評価の方法	期末試験(40%)復習テスト(30%)課題	艮 (ZU%) ホートノオリオ (1U%)					
実務経験	なし						

## (注) 教職必修, 生活科学専攻

	英語 I (B)	担当者 新福 豊実					
授業科目	〔履修年次〕 1	授業外対応 授業開始前、あるいは終了時、他の時間帯は要予約					
	〔学期〕 前期 〔単位〕 1	〔必修/選択〕 必修(注) 〔授業形態〕 講義					
テーマ及び概要	【テーマ】 英語を「読む」「聞く」「話す」「書く」技能の基礎を確認し、リスニングおよびスピーキング能力の向上を図る。  【概要】日常の様々な場面を想定し、ペアワークやグループワークで基本的な会話の練習を行い、コミュニケーション能力の向上を目指す。あわせて、リスニング、発音、文法を総合的に学習しバランスの取れた英語力を養成する。  【到達目標】日常の様々な場面で、相手の発言を理解し、英語で的確に応答することができる。						
(1)テキスト	(1) Marc Helgesen et al. [Englis	sh Firsthand (5th Edition) Success』 Pearson Longman					
(2)参考文献	(2) 授業時に適宜指示する。						
授業スケジュール	第 1回 Class overview: Learning goals and strategies (Unit zero) 第 2回 Introduce yourself to a partner/Talk about your hobbies and interests (Unit 1) 第 3回 Describe the clothes you are wearing/Talk about fashions you enjoy (Unit 2) 第 4回 Give advice about staying healthy/Ask about your partner's habits (Unit 3) 第 5回 Ask for and give directions to a place/Identify places in your community (Unit 4) 第 6回 Describe different objects/Listen to your partner describe an object (Unit 5) 第 7回 Talk about your goals/Ask about your partner's goals (Unit 6) 第 8回 Review I 第 9回 Talk about your past experiences/Ask your partner about past experiences (Unit 7) 第 10回 Describe animals and nature/Ask questions about animals and nature (Unit 8) 第 11回 Talk about things you can and can't do/Ask your partner about what he or she can and can't do (Unit 9) 第 12回 Ask about likes and dislikes/Invite someone to do something you like with you (Unit 10) 第 13回 Talk about rules and laws in other countries/Describe what people in your life should or shouldn't do (Unit 11) 第 14回 Make up a story and tell it to your partner/Tell a story you know to your partner (Unit 12) 第 15回 Review II						
授業外学習(予習·復習)		。その他の授業外学習については毎時、具体的に指示する。					
成績評価の方法	期末試験(40%)復習テスト(30%)課題	① (20%) ボートフォリオ(10%)					
実務経験	なし						

<sup>(</sup>注) 教職必修, 生活科学専攻

	英語 I (C)	担当者 新福 豊実					
授業科目	〔履修年次〕 1	授業外対応 授業開始前、あるいは終了時、他の時間帯は要予約					
	〔学期〕 前期 〔単位〕 1	〔必修/選択〕   必修(注)   〔授業形態〕   講義					
テーマ及び概要	【テーマ】 英語を「読む」「聞く」「話す」「書く」技能の基礎を確認し、リスニングおよびスピーキング能力の向上を図る。  【概要】日常の様々な場面を想定し、ペアワークやグループワークで基本的な会話の練習を行い、コミュニケーション能力の向上を目指す。あわせて、リスニング、発音、文法を総合的に学習しバランスの取れた英語力を養成する。  【到達目標】日常の様々な場面で、相手の発言を理解し、英語で的確に応答することができる。						
(1)テキスト	(1) Marc Helgesen et al. [Engli	ish Firsthand (5th Edition) Success』 Pearson Longman					
(2)参考文献	(2) 授業時に適宜指示する。						
授業スケジュール	第 1回 Class overview: Learning goals and strategies (Unit zero) 第 2回 Introduce yourself to a partner/Talk about your hobbies and interests (Unit 1) 第 3回 Describe the clothes you are wearing/Talk about fashions you enjoy (Unit 2) 第 4回 Give advice about staying healthy/Ask about your partner's habits (Unit 3) 第 5回 Ask for and give directions to a place/Identify places in your community (Unit 4) 第 6回 Describe different objects/Listen to your partner describe an object (Unit 5) 第 7回 Talk about your goals/Ask about your partner's goals (Unit 6) 第 8回 Review I 第 9回 Talk about your past experiences/Ask your partner about past experiences (Unit 7) 第 10回 Describe animals and nature/Ask questions about animals and nature (Unit 8) 第 11回 Talk about things you can and can't do/Ask your partner about what he or she can and can't do (Unit 9) 第 12回 Ask about likes and dislikes/Invite someone to do something you like with you (Unit 10) 第 13回 Talk about rules and laws in other countries/Describe what people in your life should or shouldn't do (Unit 11) 第 14回 Make up a story and tell it to your partner/Tell a story you know to your partner (Unit 12) 第 15回 Review II						
授業外学習(予習・復習)		。その他の授業外学習については毎時、具体的に指示する。					
成績評価の方法	期末試験(40%)復習テスト(30%)課題	<u></u> (20%) ボートフォリオ (10%)					
実務経験	なし						

## (注) 教職必修, 食物栄養専攻

	英語 I (C)	担当者   小林朋子				
授業科目	〔履修年次〕 1年	授業外対応 適宜対応 (要予約)				
	〔学期〕 前期 〔単位〕 1	[必修/選択] 必修(注) [授業形態] 演習				
	【テーマ】リスニングカ、発音力、文法力を総	総合的に鍛えることで、スピーキングの基礎力を養成する。				
	英語表現のリスニングや音読練習、基本的、発	合的に学習することで、バランスのとれた英語力を養います。使用頻度の高い発展的な文法事項の確認、「フレーズ・リーディング」(意味のまとまりごとに  を連挙理解の類別なども過して、※今かっちょうにより、後れの句にも思				
テーマ及び概要	区切って英語の語順で読む読解法)を意識した速読理解の練習などを通して、総合的コミュニケーション能力の向上を目します。 【到達目標】日常生活の様々な場面において、相手の情報や考えを理解でき、プロソディー面は理解に支障がない発音で報や考えを正確に表現できる。					
(1)テキスト	11 -	『Let's Read Aloud & Learn English 音読で始める基礎英語』 成美堂 刊				
(2)参考文献	(2) 授業で随時紹介します。					
	第 1回 オリエンテーション					
	第 2回 Please to meet you. <be 動詞=""> 第 3回 Do you remember me? &lt;一般動詞(現在)&gt; 第 4回 I spoke to Ms. Hayashi yesterday. &lt;一般動詞(過去)&gt;</be>					
	第 5回 When does the meeting start? <	第 5回 When does the meeting start? <疑問詞> 第 6回 Can you meet me at the airport? <助動詞 1 >				
	第 6回 Can you meet me at the airport?					
	第 7回 Feel free to ask me anytime. <文	文の種類、命令文>				
授業スケジュール	第 8回 I'm thinking about quitting my jo	job. <進行形>				
	第 9回 I'll give her your message. <未来	来形>				
	第10回 I haven't received the latest figure	ures. <現在完了形>				
	第11回 The cafeteria is closed today. <受	受動態>				
	第12回 We expect higher sales in China.	a. <比較>				
	第13回 I'd like to check in. <助動詞2>					
	第14回 How about going to the theater? <動名詞>					
	第15回 I like to travel a lot. <to 不定詞=""></to>					
授業外学習(予習·復習)	適宜指示する。					
成績評価の方法	筆記試験 (70%)、提出物 (10%)、授業への取	取組み態度 (20%) で評価する。				
実務経験について	なし					
(22.) #1 mbb > 1 (4e A 11 > 2) #						

<sup>(</sup>注) 教職必修, 食物栄養専攻

	英語 I (D	)			担当者	金岡	正夫			
授業科目	〔履修年次	〕 1年			授業外対応	授業終	了後			
	〔学期〕	前期	〔単位〕	1	[必修/選択]	必修	(ð	受業形態]	演習	
テーマ及び概要	て、英語圏 ていく。 【到達目標 効果的なス	や欧米の大学 】自分の姿を ピーキング	学生たちが自 シより豊かに (プレゼンテ	分づくり 表現できる ーション	生の視点から幅広 (人間形成) にも る語彙を自分で半 いができるように	いけて大切	がにしている部分 いら獲得し、構築	)(内面性) していく。そ	も参考情報と	しく発音し、
(4) = 1, )		. ,	ついて理解を	.,	- / - \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	4×4577 . /-	1444) IGDI (	E0 4 E010 4	200 =	
(1)テキスト	(1)		が者「バフ	クフン・コ	ライティング基礎	到[1]	戏美堂)ISBN 9	7/8-4-7919-4	629-7	
(2)参考文献	(2)	特になし								
授業スケジュール	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	米国の大学 英国の大学 フランスの 日本の大学 自分の人生 自分の人生 自分の人生 自分の人生	全人試問題(注 学教育で伝統) 全人試問題で言 全生がもってい の大学入学試 学教育と欧米の	的に重視でいた。 いるこだが 験の独自性の大学教育 過去 (1) <2 (2) の (2) の (2) の (2) の (2) の (2) の (4) の (4)	oり、信念など 性とその背景 育との違いとその > ライティング、 一同上 こ 同上 に1 同上	背景	<b>ě</b> 話技法			
授業外学習(予習·復習)	適宜指示し	ます								
成績評価の方法	提出物(40	%)、予習課	題を使った技	受業への責	貢献(20%)、発	表(40%)	)			
実務経験について										

## (注)経済専攻・経営情報専攻

	英語 I (D)	担当者    石原 知英				
授業科目	「履修年次」 1年					
1文未行口	504115					
	【学期』 前期 【単位】 1 【テーマ】英語による自己発信(書くことと	7 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -				
		によるスピーチ(あるいはプレゼンテーション)を聞いたり読んだりすることで、				
テーマ及び概要	その構成や表現を理解するとともに、各自で	でスピーチ原稿を作成したり、そのスピーチを発表することを通して、情報の要点				
/ 人人口风安	や自分の考えなどを的確に伝え合うための活	活動を行います。				
	【到達目標】(1)300語程度のまとまりのある	っる英語の文章を書くことができる、(2) 事前に準備した上で、英語で3分程度の				
	スピーチを行うことができる、(3) 聞き手の	7理解 に配慮しながら自分の考えを英語で話すことができる。				
(1)テキスト	(1) プリントを配布する					
(2)参考文献	(2) 適宜紹介する					
	第1回 授業ガイダンス (到達目標、ス	スケジュールおよび毎時の課題の説明)				
	第2回 Informative Presentation 1: 時系列で述べる					
	第3回 Informative Presentation 2: 場所について述べる					
	第4回 Informative Presentation 3: 話題ごとに述べる					
	第5回 Informative Presentation 4: 分類する					
	第6回 Informative Presentation 5: 5	定義する				
	第7回 Informative Presentation 6: 多	多角的に説明する				
授業スケジュール	第8回 中間プレゼンテーションと振り	り返り				
	第9回 Persuasive Presentation 1: 賛	<b>賛成する・反対する</b>				
	第10回 Persuasive Presentation 2: 事	事実に基づいて主張する				
	第11回 Persuasive Presentation 3: 問	問題点を指摘する				
	第12回 Persuasive Presentation 4: 改	女善策を提案する				
	第13回 Persuasive Presentation 5: 因	<b>団果関係を論じる</b>				
	第14回 Persuasive Presentation 6: 比	比較して主張する				
	第15回 最終プレゼンテーションと振り	1 1 - 1				
授業外学習(予習·復習)		予習)、前時に学習した語句・表現および例文の確認(復習)				
成績評価の方法	毎週の授業内課題(小テスト 20%、振り返り					
	クラスでの発表課題(中間プレゼンテーショ	ョン 20%、最終プレゼンテーション 40%)				
実務経験について	なし					

<sup>(</sup>注)経済専攻・経営情報専攻

	英語 I (D)	担当者	石原 知英					
授業科目	〔履修年次〕 1年	授業外対応	原則授業後に行う。	必要に応じてメー	ールによる対応も可。			
	〔学期〕 前期 〔単位〕 1	〔必修/選択〕	必修(注)	〔授業形態〕	演習			
	【テーマ】英語による自己発信(書くこと	と話すこと) と相互	理解					
	【概要】この授業では、様々な種類の英語によるスピーチ(あるいはプレゼンテーション)を聞いたり読んだりすることで、							
テーマ及び概要	その構成や表現を理解するとともに、各自	でスピーチ原稿を作	成したり、そのスピ <sup>、</sup>	ーチを発表するこ	とを通して、情報の要点			
ノーマ及UMR安	や自分の考えなどを的確に伝え合うための	活動を行います。						
	【到達目標】(1)300語程度のまとまりのあ	らる英語の文章を書く	ことができる、(2)	事前に準備した上	で、英語で3分程度の			
	スピーチを行うことができる、(3) 聞き手の理解に配慮しながら自分の考えを英語で話すことができる。							
(1)テキスト	(1) プリントを配布する							
(2)参考文献	(2) 適宜紹介する							
	第1回 授業ガイダンス (到達目標、スケジュールおよび毎時の課題の説明)							
	第2回 Informative Presentation 1:	時系列で述べる						
	第3回 Informative Presentation 2: 場所について述べる							
	第4回 Informative Presentation 3:	話題ごとに述べる						
	第5回 Informative Presentation 4:	分類する						
	第6回 Informative Presentation 5:	定義する						
	第7回 Informative Presentation 6:	多角的に説明する						
授業スケジュール	第8回 中間プレゼンテーションと振	り返り						
	第9回 Persuasive Presentation 1:	賛成する・反対する						
	第10回 Persuasive Presentation 2: 특	事実に基づいて主張す	トる					
	第11回 Persuasive Presentation 3: 🎚	問題点を指摘する						
	第12回 Persuasive Presentation 4: 引	<b>汝善策を提案する</b>						
	第13回 Persuasive Presentation 5: 2	因果関係を論じる						
	第14回 Persuasive Presentation 6: 比較して主張する							
	第15回 最終プレゼンテーションと振	り返り						
授業外学習(予習·復習)	スピーチ原稿の作成と発表に向けた練習(	予習)、前時に学習し	た語句および例文の	確認(復習)				
成績評価の方法	毎週の授業内課題(小テスト 20%、振り返	互りシート 20%)						
	クラスでの発表課題(中間プレゼンテーシ	ョン 20%、最終プレ	ゼンテーション 40%	6)				
実務経験について	なし							
(注) 奴汝市市, 奴尚桂规市	T-1-							

#### (注)経済専攻·経営情報専攻

	英語 I (D)		担当者	米村 大輔		
授業科目	〔履修年次〕 1年		授業外対応	適宜対応		
	〔学期〕 前期	〔単位〕 1	〔必修/選択〕	必修	[授業形態]	演習
テーマ及び概要	【概要】各回、現代 スよく身につける。	また基礎英文法の定着	定のトピックを扱い も図る。	、タスクを通して		「」「書く」技能をバランを英語で的確に行えるよ
(1)テキスト	(1) Jonath	an Lynch 委文光太郎	著『Trend Scop	pe_		
(2)参考文献	(2) 適宜紹	7				
授業スケジュール	第 2回 About 第 3回 Cash R 第 4回 Funny 第 5回 Loose 9 第 6回 Shrink 第 7回 Living 第 8回 Hangir 第 9回 Plant F 第 10回 South 1 第 11回 Doxing 第 12回 Fast M 第 13回 Do We 第 14回 Ramen	rs-Good or Bad? (be ! Carphones (一般動詞 egisters (名詞・代名: Happenings During ( Citting Clothing (進行 lation (Wh 疑問文) In the Countryside (i g Out in Streets and surgers Are Popular in Korean Culture Is pop (助動詞) ovies (受動態) Need a "Dislike" Butt Subscription (不定詞 Video-Sharing App Is	) 詞) Online Lessons (追 所形) 前置詞) Parks (接続詞) n America (現在完 pular Worldwide (対 on on Social Media 記 司・動名詞)	了形) (天来表現) (形容詞・副詞)		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示する。	20.000		()		
成績評価の方法		長り返りシート(30%)、	授業での取り組み	×(30%)		

(注)経済専攻・経営情報専攻

	英語 II(A)				担当者	Patrick Gorham
授業科目	〔履修年次	] 1年			授業外対応	
	〔学期〕	前期	(単位)	1	〔必修/選択〕	[授業形態]
				skills		phasis on speaking and listening. Students will complete
						ge activities. Students will be required to work in pairs and
			ch other in lea			
テーマ及び概要	【概要】St	udents w	ll work have r	egulai	homework assigni	ments.
				Ü		
	【到壽日煙	1 The eir	of the course	is to d	levelop their overal	L English abilities
		I The an	i oi tile course	is w c	levelop men overar	i English abilities.
(1)= 1,	(1)	Q	N : 04 m:	1.73.10	. 17 1171 0	0 117 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
(1)テキスト	(1)	Smart (	Choice 2A Thir	d Edit	ion, Ken Wilson, Ox	xford University Press
(2)参考文献	(2)	CI	. , ,:			
	第 1回		ientation		·· •	
	第 2回 Unit 1 How was your vacation? 第 3回 Unit 1 How was your vacation?					
	第 3回		=			
	第 4回第 5回		How was you		tion?	
	第 6回		I think it's exc I think it's exc			
	第 7回		I think it's exc			
<b> </b> 授業スケジュール	第 8回		Do it before yo	_	PO!	
1文未ヘク シュール 	第 9回		Do it before yo			
	第10回		The best place			
	第11回		The best place			
	第12回		Where's the p		e woria.	
	第13回		-	-		
	第 13 回 Unit 5 Where's the party? 第 14 回 Unit 6 You should try it!					
	第15回	Final E	-	, 10.		
授業外学習(予習・復習)	2,4 - 2 - 7	- 11111 12				
成績評価の方法	Final Exan	n (50%), S	peaking test (	30%),	Quizzes (10%), Atte	endance (10%)
実務経験について						
(注) 料磁以收 口卡第口	1 1 3/4					

## (注) 教職必修, 日本語日本文学専攻

	英語 II (A)			担当者	Jorge García Arroyo (ガルシア・アロヨ ホルヘ)				
	〔履修年次	〕 1年, 2	2年いずれでも履	授業外対応	By coming to my office or by email				
授業科目		修可							
	〔学期〕	前期	〔単位〕 1	[必修/選択]	選択(注)  〔授業形態〕  演習				
	1		_		ening and grammar skills in English through discussing				
	about different general topics of everyday life from the textbook.								
テーマ及び概要				_	s through discussing about a wide range of grammar-based				
7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	10	0 0 1	from the text boo						
	1				as conversations on a variety of everyday life topics while				
():				iring new vocabular					
(1)テキスト	(1)	Marc Helg	esen, John Wiltsh	ier, Steven Brown,	English Firsthand 1, Fifth Edition, Pearson				
(2)参考文献	(2)								
	第 1回		on to the course.	~					
	## a ==	Unit 1. Hobbies and interests . Self-introductions.							
	第 2回 Unit 1. Pair talk. Using simple present. Unit review.								
	第 3回	Transfer of the state of the st							
	第 4回 Unit 2. Pair talk. Differences between have and be in simple present. Unit review.								
		第 5回 Unit 3. Daily activities and routines. Making a date.							
	第 6回	5 1 V							
授業スケジュール	第 7回		eations. Negotiatir		1 . 1d				
	第 8回第 9回				is and there are. Unit review.				
	第10回		O	king for directions.					
	第11回				repositions. Unit review.				
	第12回	_	="	·	es. Talk about a trip you took. r verbs. Unit review.				
	第13回		oes of Jobs. What		r verbs. Offit review.				
	第14回			·	sk about jobs and skills. Unit review				
	第15回	Course rev	_	simple present to as	sk about jobs and skins. Only review				
授業外学習(予習・復習)	適宜指示	Competer	10 11.						
成績評価の方法		tivities (40%)	; final presentation	on (60%)					
実務経験について			is class since 2019						
				•					

<sup>(</sup>注) 教職必修, 日本語日本文学専攻

	英語 II (B) 担当者 ルイーズ・ケネディ・中村 Louise Kennedy Nakamura
授業科目	「履修年次」 1年 授業外対応 授業終了後
	〔学期〕  前期   〔単位〕  1   〔必修/選択〕  必修(注)   〔授業形態〕  演習
テーマ及び概要	【テーマ】This is an everyday conversation course to help students to develop confidence in speaking and develop their listening, vocabulary and grammar. skills. 【概要】 【到達目標】
(1)テキスト	(1) Materials will be supplied by the teacher
(2)参考文献	(2)
授業スケジュール	第 1回 Introduction to the class 第 2回 Getting to know the classmates 第 3回 Daily Routines 第 4回 Describing Appearance 第 5回 Describing Appearance 第 6回 Clothes / Fashion 第 7回 Personality Traits 第 8回 Review 第 9回 Making Requests 第 10回 Hobbies / Interests 第 11回 Movies 第 12回 Movies 第 13回 Travel Plans 第 14回 Travel Plans 第 15回 Review
授業外学習(予習·復習)	Students should review classroom materials; utilize online ESL listening websites.
成績評価の方法	Grade: $test \times 2 = 5.0\%$ Homework, quizzes and class participation = $5.0\%$

<sup>(</sup>注) 教職必修, 生活科学専攻

	英語Ⅱ(B	)		担当者	Jorge García Arı	royo(ガルシア・フ	アロヨ ホルヘ )			
↓   授業科目	「履修年次	•		授業外対応		office or by email				
	〔学期〕	前期	〔単位〕 1	[必修/選択]	·	〔授業形態〕				
	【テーマ】	【テーマ】Students will develop their communication, listening and grammar skills in English through discussing about								
	different general topics of everyday life from the textbook.									
┃   テーマ及び概要	【概要】Students will work on speaking and listening skills through discussing about a wide range of grammar-based									
/ 「八〇以安	_		s from the text boo							
	【到達目標	Students	will be able to m	naintain spontaneo	us conversations	on a variety of e	veryday life topics while			
	improving	their listenir	ng skills and acqui	ring new vocabular	y and expressions.					
(1)テキスト	(1)	Marc Helg	gesen, John Wiltsh	ier, Steven Brown,	English Firsthand	1, Fifth Edition, F	Pearson			
(2)参考文献	(2)									
	第 1回		on to the course.							
		Unit 1. Hobbies and interests . Self-introductions.								
	第 2回	Unit 1. Pair talk . Using simple present . Unit review.								
	第 3回									
	第 4回	Unit 2. Pair talk. Differences between have and be in simple present. Unit review.								
	第 5回	Unit 3. Daily activities and routines. Making a date.								
	第 6回	Unit 3. Pa	ir talk. Using adve	erbs of frequency. U	nit Review.					
■ 授業スケジュール	第 7回	Unit 4. Loc	cations. Negotiatir	ng with a parent.						
	第 8回	Unit 4. Par	ir talk. Using prep	ositions with there	is and there are. U	Jnit review.				
	第 9回	Unit 5. Giv	ving directions. As	king for directions.						
	第10回	Unit 5. Par	ir talk. Using imp	erative form with p	repositions. Unit re	eview.				
	第11回	Unit 6. Im	portant events in	life, past experience	s. Talk about a trij	p you took.				
	第12回	Unit 6. Par	ir talk. Using the p	past tense: irregulai	verbs. Unit review	w.				
	第13回	Unit 7. Tyj	pes of Jobs. What	do you do?						
	第14回	Unit 7. Pa	ir talk. Using the	simple present to as	k about jobs and s	kills. Unit review				
	第15回	Course rev	riew.							
授業外学習(予習·復習)	適宜指示									
成績評価の方法			) Final presentation							
実務経験について	I have been	n teaching th	nis class since 2018	3.						

<sup>(</sup>注) 教職必修, 生活科学専攻

	英語 <b>Ⅱ</b> (C)	)		担当者	ジョン・トレマーコ	John Tremarc	0		
授業科目	〔履修年次	〕 1年		授業外対応	授業終了後				
	〔学期〕	前期	〔単位〕 1	〔必修/選択〕	必修(注)	〔授業形態〕	演習		
	【テーマ】	Everyday Co	onversation.						
二 一	【概要】This course will build upon the students' previous studies. They will practice everyday conversation and review								
テーマ及び概要	the basic	grammar ne	eded to engage ir	n those conversation	1,				
	【到達目標	To improve	e students' conve	rsational skills.					
(1)テキスト	(1)	English wi	th Hit Songs, A	uthor(s): T. Kadoya	ma & S. Capper	Publisher: Seibio	lo		
(2)参考文献	(2)								
	第 1回	Introduction	on and Orienta	tion Explanation	of course aims, to	ests, evaluation	methods and teacher		
		expectation	ns. (導入-コー	-スの目標についての	)説明)				
	第 2回	Unit 1: My	heart will go on						
	第 3回	第 3回 Unit 2: Open arms							
	第 4回	回 Unit 3: Life							
	第 5回	第 5回 Unit 4: Don't look back in anger							
	第 6回	第 6回 Unit 5: A whole new world							
授業スケジュール	第 7回	Unit 6: I de	on't want to miss	a thing					
	第 8回	Unit 7: Rev	view Unit 1						
	第 9回	Unit 8: The	e stranger						
	第10回	Unit 9: He	•						
	第11回		very time I close i	ny eyes					
	第12回	Unit 11: K							
	第13回		l I want for Chris	stmas is you					
	第14回		ivin'la vida loca						
	第15回	Unit 14: R	eview of Unit 2 ar	nd Course Review; f	followed by an end of	term test in week	x 16		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示								
成績評価の方法	Classroom	Contribution	n 20% Group	work/Homework 40	% Final Test 40%				

## (注) 教職必修, 食物栄養専攻

	英語Ⅱ(C)	担当者	内尾ホープ						
授業科目	〔履修年次〕 1年	授業外対応							
	〔学期〕 前期 〔単位〕 1	〔必修/選択〕	必修(注)	〔授業形態〕	演習				
	【テーマ】The textbook contains reading	, listening and speal	king exercises on vari	ous topics. The n	nain objective is for				
	students to develop their listening, speaking and writing skills.								
テーマ及び概要	【概要】Students will mainly practice 上	istening to and speal	king English.						
) · //// ////	The state of the s								
	【到達目標】The emphasis will be on imp	morring listoning on	alring and resiting al	rilla					
	封建自標』The emphasis will be on imp	proving usterning, spe	eaking and writing si	ans.					
(4)= 1,	(4)		D 171 77	71. 1. /7	- ·				
(1)テキスト	1	arc Helgesen, Stev	e Brown and John W	iltshier (Long	man Pearson)				
(2)参考文献	(2)	) T :	1 (1	1. 1					
	第 1回 (Unit 0 / Unit 1): (It's Nice to meet you) Introduction (listening, speaking and writing)								
	第 2回 (Unit 1): (listening, speaking and writing)								
	第 3回 (Unit 1 and Unit 2): (Who are they talking about?) (Listening, speaking and writing)								
	第 4回 (Unit 2 and Unit 3): (When do you start?) (Listening, speaking and writing)								
	第 5回 (Unit 3 and Unit 4): (Where does this go?) (Listening, speaking and writing)								
	第 6回 (Unit 5): (How do I get there?) (Listening, speaking and writing) 第 7回 (Unit 5 and Unit 6): (What happened?) (Listening, speaking and writing)								
授業スケジュール			ening, speaking and	writing)					
投来ペクシュール	you are (Cinco) and notice to the		) (T:-4il-i-						
	第 9回 (Review Unit and Unit 7) 第 10回 (Unit 7 and Unit 8): (WI								
	第11回 (Unit 8 and Unit 9): (Wh			_	")				
	第12回 (Unit 9 and Unit 10): (Ho				3)				
	第13回 (Unit 10 and Unit 11): (Ho			_					
	第14回 (Unit 11 and Unit 12): (Li			,					
	第15回 (Unit 12 and Review Unit)			_	ng)				
	A short homework assignment will be ass		ioic/ (Libreillig, spe	annig and writin	15/				
授業外学習(予習·復習)	21 Short nomework assignment will be ass	ngneu eath week.							
成績評価の方法	Homework and short quizzes: 20% M	idterm: 30% Fin	al Exam: 50%						

<sup>(</sup>注) 教職必修, 食物栄養専攻

	英語Ⅱ(D)	月曜3限		担当者	グレゴリー・ダン	Gregory Dunne				
授業科目	〔履修年次〕	1年		授業外対応	授業終了後					
	〔学期〕	前期	〔単位〕 1	[必修/選択]	必修(注)	〔授業形態〕	演習方式			
	【テーマ】 T	his course aims	s to develop the liste	ning and speaking pro	oficiency of students thr	ough the study and i	use of English in everyday			
	situations. T	situations. The topics in each unit reflect the kinds of situations students come across both when studying in Japan and abroad.								
テーマ及び概要	【概要】 Each	n unit will inclu	ude a variety of liste	ning and speaking acti	ivities designed to impr	ove the students abil	ity to comprehend spoken			
7 1/20 1965	"	U		on and brief presentati						
		-	be placed on develo	ping the students abili	ty, and confidence, to sp	eak smoothly and na	aturally while engaging in			
()	short conver									
(1)テキスト	(1)	Listen Up, Ta	alk Back, Book 1. E	nglish for Everyday Co	ommunication by Gillia	an Flaherty (Seibido l	Press)			
(2)参考文献	(2)									
	第 1回		of the course and k	ey topics						
	第 2回	Meeting Nev	v People							
	第 3回	Home								
	第 4回	Family								
	第 5回	•	on in the City							
	第 6回	Shopping								
	第 7回	Celebrations								
授業スケジュール	第 8回	Review Quiz								
	第 9回	Volunteering	,							
	第10回	Staying Well								
	第11回	Pets								
	第12回	Free Time A	ctivities							
	第13回	Music								
	第14回	•	y units in class grou	•						
14/10/11/11	第15回	Final Oral R	eview Practice in pa	nirs						
授業外学習(予習·復習)	適能									
成績評価の方法	Short Prese	entations 30%	6 Homework 20	% Short Vocabul	ary Tests 10% Mid	Term Quiz 20%	Final Oral Quiz 20%			

## (注) 経済専攻、経営情報専攻

	英語Ⅱ(D	)		担当者	ルイーズ・ケネディ	・中村 Louise	Kennedy Nakamura
授業科目	〔履修年次	] 1年		授業外対応	授業終了後		
	〔学期〕	前期	〔単位〕 1	〔必修/選択〕	必修(注)	[授業形態]	演習
テーマ及び概要		ocabulary an	eryday conversat ad grammar. skil	_	udents to develop co	nfidence in spea	king and develop their
(1)テキスト	(1)	Materials w	rill be supplied by	the teacher			
(2)参考文献	(2)						
授業スケジュール	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	Getting to k Daily Rou Describing Describing Clothes / Fa Personality Review Making Rec Hobbies / In Movies Movies Travel Plan Travel Plan Review	Appearance Appearance ashion Traits quests atterests				
授業外学習(予習·復習)				ials ; utilize online E			
成績評価の方法	Grade: tes	st $\times$ 2 = 5 0 %	% Homework	, quizzes and c	lass participation	=50%	

<sup>(</sup>注) 経済専攻, 経営情報専攻

	英語II (D) 月曜4限 担当者 グレゴリー・ダン Gregory Dunne
授業科目	「履修年次」 1年 授業外対応 授業終了後
	〔学期〕 前期  〔単位〕 1  〔必修/選択〕 必修(注)  〔授業形態〕 演習方式
	【テーマ】This course aims to develop the listening and speaking proficiency of students through the study and use of
	English in everyday situations. The topics in each unit reflect the kinds of situations students come across both when
	studying in Japan and abroad.
テーマ及び概要	【概要】Each unit will include a variety of listening and speaking activities designed to improve the students ability to
	comprehend spoken English and to use English in short conversation and brief presentations.
	【到達目標】Emphasis will be placed on developing the students ability, and confidence, to speak smoothly and naturally
	while engaging in short conversations.
(1)テキスト	(1) Listen Up, Talk Back, Book 1. English for Everyday Communication by Gillian Flaherty (Seibido Press)
(2)参考文献	
	第 1回 Introduction of the course and key topics
	第 2回 Meeting New People
	第 3回 Home
	第 4回 Family
	第 5回 Transportation in the City
	第 6回 Shopping
	第 7回 Celebrations
授業スケジュール	第 8回 Review Quiz
	第 9回 Volunteering
	第10回 Staying Well
	第11回 Pets
	第12回 Free Time Activities
	第13回 Music
	第14回 Review of key units in class groups
	第15回 Final Oral Review Practice in pairs
授業外学習(予習・復習)	適能
成績評価の方法	Short Presentations 30% Homework 20% Short Vocabulary Tests 10% Mid Term Quiz 20% Final Oral Quiz 20%

(注) 経済専攻、経営情報専攻

	英語 Ⅱ(D)	)		担当者	トレマーコ・ジョ	ン			
授業科目	〔履修年次	〕 1年		授業外対応	授業終了後				
	〔学期〕	前期	〔単位〕 1	〔必修/選択〕	必修 (注)	〔授業形態〕	演習		
	【テーマ】	Everyday Co	onversation.						
	【概要】Th	nis course wil	ll build upon the	students' previous s	studies. They will	practice everyday	conversation and review		
テーマ及び概要	the basic g	grammar nee	eded to engage i	n those conversatio	ns. If attitudes a	nd abilities allow	it, we will endeavour to		
	introduce t	he business s	side of music into	the classroom activ	rities.				
	【到達目標	To improve	e students' Englis	sh communication s	kills.				
(1)テキスト	(1)	English wit	th Hit Songs, A	uthor(s): T. Kadoya	ma & S. Capper	Publisher: Seib	ido		
(2)参考文献	(2)								
	第 1回	Introductio	on and Orienta	tion Explanation	of course aims,	tests, evaluation	methods and teacher		
		expectation	ıs. (導入-コ-	-スの目標についての	説明)				
	第 2回	Unit 1: My	heart will go on						
	第 3回 Unit 2: Open arms								
	第 4回 Unit 3: Life								
	第 5回 Unit 4: Don't look back in anger								
	第 6回 Unit 5: A whole new world								
授業スケジュール	第 7回	Unit 6: I do	on't want to miss	a thing					
1人未ハランユ ル	第 8回	Unit 7: Rev	riew 1						
	第 9回	Unit 8: The	e stranger						
	第10回	Unit 9: Hey	y Now						
	第11回		very time I close	my eyes					
	第12回	Unit 11: Ki	ss of life						
	第13回	Unit 12: Al	l I want for Chris	stmas is you					
	第14回	Unit 13: Li	vin' la vida loca						
	第15回	Unit 14: Re	eview 2 and Cou	rse Review; followed	by an end of term	test in week 16			
授業外学習(予習·復習)	適宜指示								
成績評価の方法	Classroom	Contribution	n 20% Group	work/Homework 40	% Final Test 40%	Ó			

<sup>(</sup>注) 経済専攻、経営情報専攻

	英語 III (A	)		担当者	James Murra	ay ジェイムズ・マレー	-		
授業科目	〔履修年次	〕 2年		授業外対応	授業終了後・	メール			
	〔学期〕	後期	〔単位〕 1	〔必修/選択〕	選択	〔授業形態〕	演習		
	【テーマ】	This is a cou	rse for practicing a	all skills in English:	Reading, Writin	ng, Listening, Speakin	ng, and Comprehension.		
			0,1	, 0		in everyday English co uses and explanations			
テーマ及び概要			idents the chance	to use what they ar	e learning, and	to improve their confid	dence when		
1 1/20 1915	communic	_							
				earn the basic skills	of English used	d in everyday life, and	to improve confidence in		
	communic	atıng and exp	pressing oneself.						
							(		
(1)テキスト	(1)	Helgesen,	Wiltshier, Bro	wn   English Firstl	nand 2」 (Fifth E	Edition) Pearson, 2018	(ISBN: 9789813130234)		
(2)参考文献	(2)								
	第 1回		roductions and Re	<del>-</del>					
	第 2回 Unit 1: Using Simple past; Simple present; Present perfect; Present Continuous								
	1 /1	第 3回 Unit 2: Feelings and Emotions							
	第 4回 Unit 2: Using Conditionals; Adjectives for emotions								
	第 5回	•	d Discussion						
	第 6回		king Recommend						
15716-77.35	第 7回					lifiers for comparisons			
授業スケジュール	第 8回			reeing and Disagree	_				
	第 9回			describe events; Ta	ig questions				
	第10回	-	d Discussion						
	第11回		_	s; Accepting and Re	_				
	第12回		_	ald; Using clauses in	n complex sente	ences			
	第13回		lture differences; S	-					
	第14回	Final Exan		Relative pronouns					
松米月兴烈(マ四 作四)	第15回 適宜指示	rınaı Exan	n						
授業外学習(予習·復習)			と スクシャルの	(OFO/) M / ⇒4EA	(FOO/) II	1 空眶 (0~0/)			
成績評価の方法	Class parti	にipation 授身	民 じい一参加の民合	(25%), Tests 試験	(อบ%), Homewo	DTK 1白起 (20%)			
実務経験について									
大切性級ペーン・・ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (									

### (注)食物栄養専攻, 生活科学専攻

	英語Ⅲ(B	)木曜4限		担当者	グレゴリー・ダン	Gregory Dunne, P	hD.
授業科目	〔履修年次	:〕 1年		授業外対応	授業終了後		
	〔学期〕	後期	〔単位〕 1	〔必修/選択〕	必修(注)	〔授業形態〕	演習方式
テーマ及び概要	opinions at in everyda 【概要】( conversation encountered 【到達目標	nd engage in significations. They will end in the text.  This course	hort discussions.  listen to short l learn how to aims to develop	The units covered r conversations, pr express their opini the students overa	elate to types of situ actice short conver ons and engage in	ations and challeng reations, and deve short discussions e use of everyday co	s' ability to express es learners encounter lop/create their own related to the topics onversational English
(1)テキスト	(1)	Discuss the	Changing World,	Seibido			
(2)参考文献	(2)						
授業スケジュール	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	Artificial Int Business: The Food Waste: Environment Space Explo Immigration Review 1 Culture: Ent Science: The The Aging S DNA: Advar Relationship	ne Sharing Econo Food Waste and ital Problems: ration; Will Space i: Foreign Reside tertainment e New Agriculture ociety: Elderly D inces in DNA Tech o with Other Cou	Consumers e Benefit Our Futur nts in Japan al Revolution rivers	re?		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示						
成績評価の方法	Role plays	and Skits: 30%	6 Homework: 1	5% Quizzes: 25%	6 Final Project (Or	ral) 30%	_
実務経験について	Pair work,	small group d	iscussion, role pla	ays, short presentat	ions		

(注)食物栄養専攻,生活科学専攻

	<b>英語 Ⅲ (C)</b> 担当者 金岡 正夫
授業科目	「履修年次」 1年、2年 授業外対応 授業終了後
	〔学期〕 後期   〔単位〕 1   〔必修/選択〕 必修    〔授業形態〕  演習
テーマ及び概要	【テーマ】英語を使い、自分について、大学生の視点から幅広く、奥深く説明していく学習体験に取り組む。それと関連して、英語圏や欧米の大学生たちが自分づくり(人間形成)にむけて大切にしている部分(内面性)も参考情報として学習していく。 【到達目標】自分の姿をより豊かに表現できる語彙を自分で判断しながら獲得し、構築していく。その英文を正しく発音し、効果的なスピーキング(プレゼンテーション)ができるようにする。英語の技能獲得だけでなく、海外の大学生たちの生き方や価値観、人生観について理解を深める。
(1)テキスト	(1) 杉田由仁ほか著「バラグラフ・ライティング基礎演習」(成美堂)ISBN 978-4-7919-4629-7 プリント
(2)参考文献	(2) 特になし
授業スケジュール	第 1回 オリエンテーション 第 2回 米国の大学入試問題(エッセイ)が重視すること 第 3回 米国の大学教育で伝統的に重視する点とその理由 第 4回 英国の大学入試問題で試されること 第 5回 英国の大学生がもっているこだわり、信念など 第 6回 フランスの大学入学試験の独自性とその背景 第 7回 日本の大学教育と欧米の大学教育との違いとその背景 第 8回 まとめ 第 9回 自分の人生軸を語る(過去)<1> ライティング、音読、発話技法 第 10回 自分の人生軸を語る(過去)<2> 同上 第 11回 自分の人生軸を語る(現在)<2> 同上 第 12回 自分の人生軸を語る(現在)<2> 同上 第 13回 自分の人生軸を語る(近未来)<1> 同上 第 14回 自分の人生軸を語る(近未来)<2> 同上 第 15回 まとめ
授業外学習(予習·復習)	適宜指示します
成績評価の方法	提出物(40%)、予習課題を使った授業への貢献(20%)、発表(40%)
実務経験について	

(注)食物栄養専攻,生活科学専攻

	T.,,									
	英語皿 (D) 木曜 4 限	担当者	グレゴリー・ダン Gr	egory Dunne, PhD.						
授業科目		授業外対応	授業終了後							
	〔学期〕 後期  〔単位〕 1	[必修/選択]		受業形態〕  演習方式						
	【テーマ】 This course focuses on developing the student's ability to talk about topics related to science and nut									
	to comprehend related listening and writter	n activities								
	【概要】Students will listen to short talks,	, read the talks for	comprehension and pr	ractice short conversations	related to					
テーマ及び概要	them. Students will have opportunities to	-		-	-					
7 1/20 1/20	encountered in the text will be discussed an			<del>-</del>	_					
	【到達目標】This course aims to develop t			=						
	nutrition while enhancing their ability to co		•	•						
	in the classroom. This course will improve to			ary related to science and r	nutrition.					
(1)テキスト	(1) AFP World Focus: Environment	nt, Health, and Teo	hnology							
(2)参考文献	(2)									
	第 1回 Introductions									
	第 2回 Global Warming and Climate Change									
	第 3回 Diet and Health for Long Lives									
	第 4回 Self-Driving for the Future									
	第 5回 Sustaining Biodiversity and Pr	rotecting Species								
	第 6回 IT and Education									
	第 7回 Garbage Problems									
授業スケジュール	第 8回 Eating Disorders									
	第 9回 Ecotourism and Protection of the	he Natural Habita	t							
	第10回 Health Check									
	第11回 Saving Food Waste									
	第12回 Climate Change, Drought, and	l Water Use								
	第13回 Protection from Natural Disast	第13回 Protection from Natural Disasters								
	第14回 3D Printers for Creating Body	第14回 3D Printers for Creating Body Parts								
	第15回 Review									
授業外学習(予習·復習)	適宜指示									
成績評価の方法	Role plays and Skits: 30% Homework: 15%	% Quizzes: 25%	Final Project (Oral) 3	80%						
実務経験について	Pair work, small group discussion, role play	ys, short presentati	ons							

(注)日本語日本文学専攻,経済専攻,経営情報専攻

	英語皿 (E) 木曜 4 限 担当者 グレゴリー・ダン Gregory Dunne, PhD.
授業科目	[履修年次] 1,2年 授業外対応 授業終了後
	〔学期〕  後期   〔単位〕  1   〔必修/選択〕  必修(注)   〔授業形態〕   演習方式
	[テーマ] This course focuses on the use of conversational English in everyday settings and situations. It provides the
	students with many opportunities to develop their listening skills, conversational skills, and vocabulary knowledge.
	【概要】Students will listen to short conversations, practice short conversations, and develop/create their own
テーマ及び概要	conversations. Student will
	create role plays and perform them before the class.
	【到達目標】This course aims to develop the students overall proficiency in the use of conversational English. By giving the
	students many opportunities to practice their English (in pairs, small groups, and before the class) the course aims to
(1) = 1 = 1	strengthen the students confidence in the use of English.
(1)テキスト	(1) Listen to this! (Intermediate) by James Bean with Gillian Flaherty, (Seibido Press)
(2)参考文献	
	第 1回 Introduction to the course and key topics. "Please leave a message"
	第 2回 You need a break!
	第 3回 I think we're lost
	第 4回 Where did you grow up?
	第 5回 It's a goal! 第 6回 Sightseeing
	XII
授業スケジュール	第 7回 TV violence 第 8回 I'd like to return this
(対策人グンユール)	
	第 9回 What a great vacation! 第10回 Can you help me with my essay?
	第 11 回   What happens to our trash?   第 12 回   I feel terrible
	\$\frac{\pi}{13} = Future plans
	第14回 I disagree!
	第15回 Review and Conversational Practice
授業外学習(予習·復習)	適方指示
成績評価の方法	Role plays and Skits: 30% Homework: 15% Quizzes: 25% Final Project (Oral) 30%
実務経験について	Pair work, small group discussion, role plays, short presentations

## (注)日本語日本文学専攻,経済専攻,経営情報専攻

	英語Ⅲ(F)	担当者新福豊実						
授業科目	〔履修年次〕 1, 2年	授業外対応 授業開始前、あるいは終了時、他の時間帯は要予約						
	〔学期〕 後期 〔単位〕 1	〔必修/選択〕 選択(注) 〔授業形態〕 講義						
テーマ及び概要	【概要】日常の様々な場面を想定し、ペアリ 向上を目指す。あわせて、リスニング、発	「書く」技能の基礎を確認し、リスニングおよびスピーキング能力の向上を図る。 ワークやグループワークで基本的な会話の練習を行い、コミュニケーション能力の 音、文法を総合的に学習しバランスの取れた英語力を養成する。 発言を理解し、英語で的確に応答することができる。						
(1)テキスト	(1) Marc Helgesen et al. [English	h Firsthand (5th Edition) Level 1』 Pearson Longman						
(2)参考文献	(2) 授業時に適宜指示する。							
授業スケジュール	第 1回 Class overview: Learning goals and strategies (Unit zero) 第 2回 Meeting people/introducing yourself. (Unit 1) 第 3回 Describing people - personality and character (Unit 2) 第 4回 Schedules and frequency - personal schedule (Unit 3) 第 5回 Stating locations - describing differences between two places (Unit 4) 第 6回 Giving directions - following map directions (Unit 5) 第 7回 Describing personal experiences (Unit 6) 第 8回 Review I 第 9回 Abilities and interests - exchanging job skills information (Unit 7) 第 10回 Invitations and preferences - identifying entertainment information (Unit 8) 第 11回 Future plans and predictions - identifying vacation plans and activities (Unit 9) 第 12回 Shopping - understanding prices and inferring shopping decisions (Unit 10) 第 13回 Describing processes - food and cooking (Unit 11) 第 14回 Music - Giving opinions about music (Unit 12)							
授業外学習(予習·復習)	毎時、配布される復習課題に取り組むこと。	その他の授業外学習については毎時、具体的に指示する。						
成績評価の方法	期末試験(40%)復習テスト(30%)課題	(20%) ポートフォリオ (10%)						
実務経験	なし							

<sup>(</sup>注)日本語日本文学専攻,経済専攻,経営情報専攻

	英語Ⅲ(G)	担当者 ルイ	ーズ・ケネディ・中村 La	ouise Kennedy Nakamura
授業科目	[履修年次] 1,2年		終了後	
	[学期] 後期 [単位] 1		択(注) 〔授業形	態演習
	【テーマ】This is an everyday English cor	nmunications course. It	t will build help to impre	ove students' English speaking
	and listening skills, along with their confid	lence and willingness to	speak English.	
テーマ及び概要	【概要】			
	【到達目標】			
(1)テキスト	(1) Materials will be supplied by	he teacher		
(2)参考文献	(2)			
	第 1回 Introduction to the class			
	第 2回 Vacations			
	第 3回 Last Weekend			
	第 4回 Food			
	第 5回 Food			
	第 6回 Jobs			
	第 7回 Jobs			
授業スケジュール	第 8回 Review			
	第 9回 Health			
	第10回 Giving Advice			
	第11回 Christmas			
	第12回 Rules / Obligation			
	第13回 Rules / Obligation			
	第14回 Future Plans			
	第15回 Review			
授業外学習(予習·復習)	Students should review classroom materia	ls ; utilize online ESL li	istening websites	
成績評価の方法	Grade: test $\times$ 2 = 5 0 % Homework,	quizzes and class pa	articipation = 50%	

<sup>(</sup>注) 日本語日本文学専攻,経済専攻,経営情報専攻

	英語Ⅲ(H)		担当者	ルイーズ・ケネティ	· 中村 Louise K	ennedy Nakamura
授業科目	〔履修年次〕 1	, 2年	授業外対応	授業終了後		
	〔学期〕 後期	〔単位〕 1	〔必修/選択〕	選択(注)	〔授業形態〕	演習
						dents' English speaking
a	and listening skil	ls, along with their conf	idence and willingn	ess to speak English.		
	[+ortans]					
テーマ及び概要	【概要】					
	【到達目標】					
	ZIZETIK.					
(1)テキスト (	(1) Mate	erials will be supplied by	the teacher			
	(2)	Tr				
		duction to the class				
	第 2回 Vaca	tions				
	第 3回 Last	Weekend				
	第 4回 Food					
Ŷ.	第 5回 Food					
	第 6回 Jobs					
	第 7回 Jobs					
授業スケジュール	第 8回 Revie	ew				
	第 9回 Heal	th				
	第10回 Givir	ng Advice				
	第11回 Chris	stmas				
	第12回 Rule	s / Obligation				
<b>1</b>		s / Obligation				
		re Plans				
	第15回 Revi	ew				
授業外学習(予習·復習) S	Students should 1	review classroom materi	als ; utilize online	ESL listening websit	tes	
成績評価の方法 (	Grade: test $\times$ 2 =	= 50% Homework,	quizzes and c	elass participation =	= 5 0%	_

<sup>(</sup>注) 日本語日本文学専攻, 経済専攻, 経営情報専攻

接業科目   「履修年次」 2年   接業外対応   接業外対応   接業所態   演習方式   「デーマ】中級レベルの英語をつかいながら自分の意見を伝えること。		英語 <b>IV</b> (A)	担当者	Nikolay Gyulemetov ギュレメトヴ・ニコライ						
「テーマ】中級レベルの英語をつかいながら自分の意見を伝えること。 . Expressing your opinion about different topics in English.  「概要】様々なトピックについて考えて、話し合って、発表して、自分のコミュニケーション力を強める。 教科書、映像、プリントなどをつかう。 We will use the textbook, handouts and videos in our class and discussions.  「到達目標】グループワークや発表による英語コミュニケーションのスキルアップ。文法、語彙、聞き取り・読解の練習をしながら discussion を行います。 Our goal is to practice grammar, vocabulary, reading and listening in order to improve our communication skills.  (1)テキスト (1) 未定 (プリントを配布する場合もある) (2) 第 1回 オリエンテーション・説明 Orientation and objectives 第 2回 クラスワーク (文法、語彙) Grammar and vocabulary 第 3回 クラスワーク (発表をする方法) Making a presentation 第 4回 グループワーク 1 Group work, preparation for presentation 第 5回 グループ発表 1 First presentation 第 6回 クラスワーク (コミュニケーションカ) Communication skill	授業科目	〔履修年次〕 2年	授業外対応	授業終了後						
Expressing your opinion about different topics in English.  【概要】様々なトピックについて考えて、話し合って、発表して、自分のコミュニケーション力を強める。 教科書、映像、プリントなどをつかう。 We will use the textbook, handouts and videos in our class and discussions.  【到達目標】グループワークや発表による英語コミュニケーションのスキルアップ。文法、語彙、聞き取り・読解の練習をしながら discussion を行います。 Our goal is to practice grammar, vocabulary, reading and listening in order to improve our communication skills.  (1) 未定 (プリントを配布する場合もある) (2) 第 1回 オリエンテーション・説明 Orientation and objectives 第 2回 クラスワーク (文法、語彙) Grammar and vocabulary 第 3回 クラスワーク (発表をする方法) Making a presentation 第 4回 グループワーク 1 Group work, preparation for presentation 第 5回 グループ発表 1 First presentation 第 6回 クラスワーク (コミュニケーション力) Communication skill		〔学期〕 前期 〔単位〕	〔必修/選択〕	選択(注) 〔授業形態〕 演習方式						
「概要】様々なトピックについて考えて、話し合って、発表して、自分のコミュニケーション力を強める。 教科書、映像、プリントなどをつかう。 We will use the textbook, handouts and videos in our class and discussions.  【到達目標】グループワークや発表による英語コミュニケーションのスキルアップ。文法、語彙、聞き取り・読解の練習をしながら discussion を行います。 Our goal is to practice grammar, vocabulary, reading and listening in order to improve our communication skills.  (1) 未定 (プリントを配布する場合もある) (2) 第 1回 オリエンテーション・説明 Orientation and objectives 第 2回 クラスワーク (文法、語彙) Grammar and vocabulary 第 3回 クラスワーク (発表をする方法) Making a presentation 第 4回 グループワーク 1 Group work, preparation for presentation 第 5回 グループ発表 1 First presentation 第 6回 クラスワーク (コミュニケーション力) Communication skill		【テーマ】中級レベルの英語をつかいながら	ら自分の意見を伝え	ること。 .						
新科書、映像、プリントなどをつかう。 We will use the textbook, handouts and videos in our class and discussions.  【到達目標】グループワークや発表による英語コミュニケーションのスキルアップ。文法、語彙、聞き取り・読解の練習をしながら discussion を行います。 Our goal is to practice grammar, vocabulary, reading and listening in order to improve our communication skills.  (1) 未定 (プリントを配布する場合もある) (2)参考文献 (2)  第 1回 オリエンテーション・説明 Orientation and objectives 第 2回 クラスワーク (文法、語彙) Grammar and vocabulary 第 3回 クラスワーク (発表をする方法) Making a presentation 第 4回 グループワーク 1 Group work, preparation for presentation 第 5回 グループ発表 1 First presentation 第 6回 クラスワーク (コミュニケーション力) Communication skill		Expressing your opinion about different to								
We will use the textbook, handouts and videos in our class and discussions.  【到達目標】グループワークや発表による英語コミュニケーションのスキルアップ。文法、語彙、聞き取り・読解の練習をしながら discussion を行います。 Our goal is to practice grammar, vocabulary, reading and listening in order to improve our communication skills.  (1) 未定 (プリントを配布する場合もある) (2) 第 1回 オリエンテーション・説明 Orientation and objectives 第 2回 クラスワーク (文法、語彙) Grammar and vocabulary 第 3回 クラスワーク (発表をする方法) Making a presentation 第 4回 グループワーク 1 Group work, preparation for presentation 第 5回 グループ発表 1 First presentation 第 6回 クラスワーク (コミュニケーション力) Communication skill		【概要】様々なトピックについて考えて、『	- 話し合って、発表し <sup>・</sup>	て、自分のコミュニケーション力を強める。						
We will use the textbook, handouts and videos in our class and discussions.  【到達目標】グループワークや発表による英語コミュニケーションのスキルアップ。文法、語彙、聞き取り・読解の練習をしながら discussion を行います。         のur goal is to practice grammar, vocabulary, reading and listening in order to improve our communication skills.  (1) 未定 (プリントを配布する場合もある) (2) 第 1回 オリエンテーション・説明 Orientation and objectives 第 2回 クラスワーク (文法、語彙) Grammar and vocabulary 第 3回 クラスワーク (発表をする方法) Making a presentation 第 4回 グループワーク 1 Group work, preparation for presentation 第 5回 グループ発表 1 First presentation 第 6回 クラスワーク (コミュニケーション力) Communication skill	— T < \httm==			7, 1, 2, 4						
ながら discussion を行います。    Our goal is to practice grammar, vocabulary, reading and listening in order to improve our communication skills.  (1) 未定 (プリントを配布する場合もある) (2) 第 1回 オリエンテーション・説明 Orientation and objectives 第 2回 クラスワーク (文法、語彙) Grammar and vocabulary 第 3回 クラスワーク (発表をする方法) Making a presentation 第 4回 グループワーク 1 Group work, preparation for presentation 第 5回 グループ発表 1 First presentation 第 6回 クラスワーク (コミュニケーション力) Communication skill	アーマ及い概要	We will use the textbook, handouts and	videos in our class a	and discussions.						
Our goal is to practice grammar, vocabulary, reading and listening in order to improve our communication skills.  (1) 未定 (プリントを配布する場合もある) (2)参考文献 (2) 第 1回 オリエンテーション・説明 Orientation and objectives 第 2回 クラスワーク (文法、語彙) Grammar and vocabulary 第 3回 クラスワーク (発表をする方法) Making a presentation 第 4回 グループワーク 1 Group work, preparation for presentation 第 5回 グループ発表 1 First presentation 第 6回 クラスワーク (コミュニケーション力) Communication skill		【到達目標】グループワークや発表による芽	英語コミュニケーシ	ョンのスキルアップ。文法、語彙、聞き取り・読解の練習をし						
(1)テキスト (1) 未定 (プリントを配布する場合もある) (2)参考文献 (2) 第 1回 オリエンテーション・説明 Orientation and objectives 第 2回 クラスワーク (文法、語彙) Grammar and vocabulary 第 3回 クラスワーク (発表をする方法) Making a presentation 第 4回 グループワーク 1 Group work, preparation for presentation 第 5回 グループ発表 1 First presentation 第 6回 クラスワーク (コミュニケーション力) Communication skill		ながら discussion を行います。								
(2) 第 1回 オリエンテーション・説明 Orientation and objectives 第 2回 クラスワーク (文法、語彙) Grammar and vocabulary 第 3回 クラスワーク (発表をする方法) Making a presentation 第 4回 グループワーク 1 Group work, preparation for presentation 第 5回 グループ発表 1 First presentation 第 6回 クラスワーク (コミュニケーション力) Communication skill		Our goal is to practice grammar, vocabulary, reading and listening in order to improve our communication skills								
第 1回 オリエンテーション・説明 Orientation and objectives 第 2回 クラスワーク (文法、語彙) Grammar and vocabulary 第 3回 クラスワーク (発表をする方法) Making a presentation 第 4回 グループワーク 1 Group work, preparation for presentation 第 5回 グループ発表 1 First presentation 第 6回 クラスワーク (コミュニケーション力) Communication skill	(1)テキスト	(1) 未定 (プリントを配布する場	場合もある)							
第 2回 クラスワーク (文法、語彙) Grammar and vocabulary 第 3回 クラスワーク (発表をする方法) Making a presentation 第 4回 グループワーク 1 Group work, preparation for presentation 第 5回 グループ発表 1 First presentation 第 6回 クラスワーク (コミュニケーション力) Communication skill	(2)参考文献	(2)								
第 3回 クラスワーク (発表をする方法) Making a presentation 第 4回 グループワーク 1 Group work, preparation for presentation 第 5回 グループ発表 1 First presentation 第 6回 クラスワーク (コミュニケーション力) Communication skill				objectives						
第 4回 グループワーク 1 Group work, preparation for presentation 第 5回 グループ発表 1 First presentation 第 6回 クラスワーク (コミュニケーション力) Communication skill										
第 5回 グループ発表 1 First presentation 第 6回 クラスワーク (コミュニケーション力) Communication skill		第 3回 クラスワーク (発表をする方法) Making a presentation								
第 6回 クラスワーク (コミュニケーション力) Communication skill		20		r presentation						
↓ 第 7回 クラスワーク (ディスカッション力) Discussion skill			,							
授業スケジュール 第 8回 クラスワーク (スピーチカ) Speech skill	授業スケジュール	// - / / / / / / / / / / / / / / / / /								
第 9回 グループワーク 2 Group work, preparation for presentation				presentation						
第 10 回 グループ発表 2 Second presentation										
第11回 クラスワーク (classmate のインタビュー) Interview your classmate!				-						
第 12 回 クラスワーク (文法、語彙) Grammar and vocabulary 2				č						
第 13 回 クラスワーク (聞き取り・読解力) Listening and Reading skills				e e e e e e e e e e e e e e e e e e e						
第14回 グラスワーク (コース優音) Revision of all topics covered.  第15回 まとめ (Final worksheet/Revision)		第 14 回 クラスワーク (コース復習) Revision of all topics covered.								
第 15 回 まとめ (rinal worksneet/Kevision) 授業外学習(予習・復習) 適宜指示	运举从学型(N型, 海羽)	2,0 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	ISIOH/							
成績評価の方法 筆記試験 (60%) +グループ発表 30+作文 (宿題―10%) を基準に、総合的に評価する。			* (宿題—10%) を基	禁御に 総合的に評価する。						
実務経験について		<b>→ HGR W// (00/0) 1///・ / /近次 00 1   F</b> 人	(ID/O) EA	2丁(で) かいロログ(中)    四 / 「公o						

## (注)日本文学専攻,食物栄養専攻,生活科学専攻

	英語 IV(B)			担当者	トレマーコ・ジ	ション					
授業科目	〔履修年次	〕 2年		授業外対応	授業終了後						
	〔学期〕	前期	〔単位〕 1	〔必修/選択〕	選択	〔授業形態〕	演習				
	【テーマ】	Everyday C	onversation.								
- T-19/00	【概要】TI	【概要】This course will build upon the students' previous studies. They will practice everyday conversation and review									
テーマ及び概要	the basic	grammar ne	eeded to engage in	those conversation							
	【到達目標	To improv	e students' conver	sational skills.							
(1)テキスト	(1)	English w	ith Pop Hits; Au	thor(s): T. Kadoyam	a & S. Capper	Publisher: Seibid	lo				
(2)参考文献	(2)	J	-	· ·							
	第 1回	Introduction	on and Orienta	tion Explanation	of course aims	, tests, evaluation	methods an	d teacher			
		expectation	ns. (導入—コー	スの目標についての	説明)						
	第 2回	2回 Unit 1: Complicated									
	第 3回	3回 Unit 2: SOS									
	第 4回	旦 Unit 3: You are not alone									
	第 5回	Unit 4: Do	n't want to lose yo	u							
	第 6回 Unit 5 How crazy are you										
授業スケジュール	第 7回	第 7回 Unit 6: Sunday Morning									
	第 8回	Unit 7: Review Unit 1									
	第 9回	Unit 8: I w	ant ti that way								
	第10回	Unit 9: Su	ddenly I see								
	第11回			l to live without you							
	第12回	Unit 11: Sa	ave the best for La	ıst							
	第13回	Unit 12: To	orn								
	第14回	Unit 13: L	a La means I love	you							
	第15回	Unit 14: R	eview of Unit 2 ar	nd Course Review; f	ollowed by an en	d of term test in wee	k 16				
授業外学習(予習·復習)	適宜指示										
成績評価の方法	Classroom	Contribution	n 20% Group	work/Homework 40	% Final Test 40	)%					

(注)日本文学専攻,食物栄養専攻,生活科学専攻

	英語IV(C)	担当者 グレゴリー・ダン Gregory Dunne								
授業科目	〔履修年次〕 2年	授業外対応 授業終了後								
	〔学期〕 前期 〔単位〕 1	[必修/選択] 選択(注) [授業形態] 演習方式								
	【テーマ】This course aims to develop the	ne listening and speaking proficiency of students through the study and use of								
	English in everyday situations. The course	se also aims to encourage the students' creativity in developing conversations of								
	their own. The topics in each unit reflect to	the kinds of situations students come across both when studying in Japan and								
	abroad.									
テーマ及び概要	l .	of listening and speaking activities designed to improve the students ability to								
) · /// // // // // // // // // // // //		English with confidence in conversation and brief presentations. Students will								
		own conversations, communicating more freely within the language structures								
	being introduced in class.									
		developing the students ability and confidence to speak smoothly and naturally								
	while engaging in short conversations.									
(1)テキスト	1,	. English for Everyday Communication by Gillian Flaherty (Seibido Press)								
(2)参考文献	(2)									
	第 1回 Introduction of the course and	l key topics								
	第 2回 Campus Life									
	第 3回 Health Care									
	7 7	第 4回 My Favorite Things								
		第 5回 International Travel								
	第 6回 Weather	第 6回 Weather								
	第 7回 Education	第 7回 Education								
授業スケジュール	第 8回 Review Quiz									
	第 9回 Exploring a New City									
	第10回 Learning English									
	第11回 Money									
	第12回 The Environment									
	第13回 News									
	第14回 Review of key units in class groups									
	第 15 回 Final Oral Review Practice in	pairs								
授業外学習(予習·復習)	適計									
成績評価の方法	Short Presentations 30% Homework 20%	% Short Vocabulary Tests 10% Mid Term Quiz 20% Final Oral Quiz 20%								

# (注) 経済専攻、経営情報専攻

	英語IV(D	1)		担当者	米村大輔				
授業科目	「履修年次								
1文条行口	[学期]	前期	〔単位〕 1	授業外対応 〔必修/選択〕	適宜対応 選択	[授業形態]			
	3 4 7 7 42	14 47 74	· · · →	現代のビジネスモデ		40 0140 100	(明首)		
テーマ及び概要	【概要】英ネスモデル	語の基本4技 を作成し、英 】現代社会に	b能を駆使しながら 支語で発表を行う。 こおける様々なシー	、現代の世相を反映	したビジネスモラ 報を正確に読み	デルについて概観する (聞き) 取ることがて	。各自オリジナルのビジ がきる。ビジネスに関わる		
(1)テキスト	(1)	Jonathan I	Lynch 委文光太郎	著 『Global Pat	hwavsJ				
(2)参考文献	1 ' '			Д ( 0.100001 - 0.10					
授業スケジュール	(1) Jonathan Lynch 委文光太郎 著 『Global Pathways』 (2) 適宜紹介 第 1回 Gig Work 第 2回 Your Boss is from Overseas 第 3回 Bitcoin 第 4回 Working from Home 第 5回 Kickstarter 第 6回 Esports 第 7回 Unicorns 第 8回 How do Modern Musicians Make Money? 第 9回 Space Business 第 10回 Going Cashless from a Business's Perspective 第 11回 Workations 第 12回 The Future of "Hanko" プレゼンテーションスキル1 第 13回 Subscription Services プレゼンテーションスキル2 第 14回 Japanese High-End Denim Industry プレゼンテーションスキル3								
授業外学習(予習·復習)	第15回 適宜指示す		ーション & 振り	· · <del>- ·</del>					
成績評価の方法	筆記試験(3		返りシート(20%)、	授業での取り組み	(20%)、プレゼン	テーション(30%)			
	<u> </u>								

<sup>(</sup>注) 経済専攻、経営情報専攻

	<b>英語 Ⅳ(E)</b> 担当者 金岡 正夫								
授業科目	〔履修年次〕 2年 授業外対応 授業終了後								
	〔学期〕 前期 〔単位〕 1 〔必修/選択〕 必修 〔授業形態〕 演習								
	【テーマ】英語を使い、自分について、大学生の視点から幅広く、奥深く説明していく学習体験に取り組む。それと関連して、								
	英語圏や欧米の大学生たちが自分づくり(人間形成)にむけて大切にしている部分(内面性)も参考情報として学習していく。								
テーマ及び概要	【到達目標】自分の姿をより豊かに表現できる語彙を自分で判断しながら獲得し、構築していく。その英文を正しく発音								
	効果的なスピーキング(プレゼンテーション)ができるようにする。英語の技能獲得だけでなく、海外の大学生たちの生								
	や価値観、人生観について理解を深める。								
(1)テキスト	(1) 杉田由仁ほか著「バラグラフ・ライティング基礎演習」(成美堂)ISBN 978-4-7919-4629-7								
(2)参考文献	(2) 特になし								
	第 1回 オリエンテーション								
	第 2回 米国の大学入試問題(エッセイ)が重視すること								
	第 3回 米国の大学教育で伝統的に重視する点とその理由								
	第 4回 英国の大学入試問題で試されること								
	第 5回 英国の大学生がもっているこだわり、信念など								
	第 6回 フランスの大学入学試験の独自性とその背景								
	第 7回 日本の大学教育と欧米の大学教育との違いとその背景								
授業スケジュール	第 8回 まとめ								
	第 9回 自分の人生軸を語る(過去)<1> ライティング、音読、発話技法								
	第10回   自分の人生軸を語る (過去) <2> 同上								
	第11回 自分の人生軸を語る(現在)<1> 同上								
	第12回   自分の人生軸を語る (現在) <2> 同上								
	第13回 自分の人生軸を語る(近未来)<1> 同上								
	第14回 自分の人生軸を語る(近未来)<2> 同上								
	第15回 まとめ								
授業外学習(予習・復習)	適宜指示します								
成績評価の方法	提出物(40%)、予習課題を使った授業への貢献(20%)、発表(40%)								
実務経験について									

### (注) 経済専攻、経営情報専攻

1	英語IV(F)			担当者	轟 義昭		
授業科目	「履修年次〕			授業外対応		ルもしくはオフィスフ	アワーで対応
3228111	〔学期〕	前期	〔単位〕 1	[必修/選択	-	[授業形態]	演習
テーマ及び概要	【テーマ】 を高める。 【概 要】 す。担当者/ 習意欲を高	受業では,高 はプリントを める工夫)。	な得に向けて、語 がで学習した英 ・用いてヒントを また、LL 教室を	彙力を増やし、英文 文法の基礎知識を再	法を再確認し、長確認させます。テ語違った箇所をチ間題にも取り組め	キストは毎回1章ず ェックさせます。その	付けて、英語学習への意欲 つ進むので、予習が必要で の上で解説を試みます(学
(1)テキスト (2)参考文献	(1) (2)		岡島徳昭, W.ノ ントによる問題	エル『英検2級 合 も配布	格への道』南雲堂		
授業スケジュール	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第         1回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回	Lesson 1 (Lesson 2 (Lesson 3 (Lesson 5 (Lesson 6 (Lesson 7 (Lesson 9 (上esson 10 Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12 (Lesson 12	語句空所補充, 語句空所補充, 語句空所補充, 語句空所補充, 語句空所補充, 語句空所補充, 語句空所補充, 語句空所補充, 語句空所補充, 语句空所補充, (語句空所補充, (語句空所補充, (語句空所補充,	短文中の語句整序, 短文中の語句整序, 短文中の語句整序, 短文中の語句整序, 短文中の語句整序, 短文中の語句整序, 短文中の語句整序, 短文中の語句整序, 短文中の語句整序, 短文中の語句整序,	長文の語句空所補が 長文の内容一致選別 長文の語句空所補が 長文の語句空所補が 長文の語句空所補が 長文の語句空所補が 長文の語句空所補が 長文の語句空所補が 長文の語句空所補が 長文の語句空所補が 長文の語句空所補が 長文の語句空所補が 長文の語句空所補が 長文の語句空所補が 長文の語句空所補が 長文の語句空所補が	充と内容一致選択、会 民、会話の内容一致選択、会 たと内容一致選択、会 たと内容一致選択、会 たと内容一致選択、会 たと内容一致選択、会 たと内容一致選択、会 たと内容一致選択、会 たと内容一致選択、会 にと内容一致選択、会 にと内容一致選択、会 にと内容一致選択、会	<ul> <li>経択)</li> <li>注話の応答文選択)</li> <li>注話の内容一致選択)</li> <li>引, 小テスト(1回目)</li> <li>注話の内容一致選択)</li> <li>注話の応答文選択)</li> <li>軽択)</li> <li>活の応答文選択), 小テス</li> <li>会話の内容一致選択)</li> </ul>
	>14 I	0.0	て授業に臨む準	備,復習は小テスト	の準備		
成績評価の方法	筆記試験 (4	10%),予習:	および小テストを	と含む授業への取り	且み (60%)		
実務経験について	なし						

<sup>(</sup>注) 全専攻の学生が選択可能

	英語 IV(G)				担当者	遠峯伸一郎					
授業科目	〔履修年次	] 2年			授業外対応	講義前後に適	宜対応				
	〔学期〕	前期	〔単位〕	1単位	〔必修/選択〕	選択	[授業形態]	演習方式			
	【テーマ】	【テーマ】文法にもとづいた英文解釈の技法を学ぶ。									
テーマ及び概要	【概要】英	【概要】英文解釈の練習を通して、文法にもとづく英文解釈の技法を学ぶ。									
	【到達目標	【到達目標】構文と論理展開を手がかりにして英文を正確に読めるようになる。									
(1)テキスト	(1)	初回の授	業で紹介す	<sup>-</sup> る。							
(2)参考文献	(2)	随時紹介	する。								
	第 1回	ガイダン	/ス								
	第 2回	ピダハン	<i>の</i> 子育て (	(1)							
	第 3回	ピダハン	<i>の</i> 子育て (	(2)							
	第 4回	ピダハン	<i>の</i> 子育て (	(3)							
	第 5回	ピダハン	√の子育て (	(4)							
	第 6回	高校生の	MeToo (1)								
	第 7回	高校生の	MeToo (2)								
授業スケジュール	第 8回	高校生の	MeToo (3)								
	第 9回	高校生の	MeToo (4)								
	第10回	高校生の	MeToo (5)								
	第11回	ソフィー	-の世界 (1)								
	第12回	ソフィー	-の世界 (2)								
	第13回	ソフィー	-の世界 (3)								
	第14回	ソフィー	-の世界 (4)								
	第15回	まとめ									
授業外学習(予習·復習)	予習2時間	以上,復習	₹1時間以」	上必要であ	る。						
成績評価の方法	試験 (60%	) + 課題	(30%) + 授	業への参加	叩状況(10%)						
実務経験について	なし				·		<u> </u>				

<sup>(</sup>注) 全専攻の学生が選択可能

	異文化コミュニ	ケーション(英語)	担当者	英語担当教員全	員			
授業科目	〔履修年次〕	1,2年いずれでも履修可	〔学期〕	通年				
	〔単位〕	2単位	[必修/選択]	選択	[授業形態]	実習		
	【テーマ】生き	きた英語の運用能力を高める。						
	【概要】ハワィ	イ大学カピオラニ・コミュニティ・	カレッジで研修を行	「う。 授業は英語	研修とハワイ文化	△研修から成り立ち、滞		
	在期間中,基础	<b>塾的な生活英語とハワイの文化習慣</b>	などについて直接体	験する。				
	2019 年度の	実績						
テーマ及び概要	1.122.	4日~9月17日						
	参加者:3	• •		- A - + + + + + + + + + + + + + + + + +				
		为38万円(授業料,往復航空運賃,			L7	andre II. Fig S. II.		
	【到達目標】英語運用能力を高めるだけでなく、ハワイの文化を学び、多文化が共生するハワイで「国際化」「グローバル化」 の意味を自らの実体験を通して考え、理解する。							
(1)=.1-1	72.77.27.2	)美体験を囲して考え,埋解する。 >ワイ大学附属カピオラニ・コミュ:	-= , <u>+1</u>	+11\V.**\=\\$\\\*				
(1)テキスト (2)参考文献	(1) (2)	NOA 人子 州禹 カヒオ ラニ・コミュ	ニティ・カレッンの	担当教員が指示				
(2)参与关系	` '							
	1	13.33 [1.1]	~4回行う ハロイ	ナ学カレッナラー。	・コミューティ・	カレッジでの研修内容		
		特設時間を利用して受講希望者に3~4回行う。ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジでの研修内容 の説明、パスポートの取得方法など、海外渡航に伴うさまざまな必要事項の説明、課題(研修中の日記、研修後						
		シレポート作成)の指示など。	147 11000 M C   1 7 C	なこまる名文子	R*/100/11, 1000			
		1 11/30						
授業スケジュール	淮	外研修:						
	9	月を予定(約2週間)。現地の大学	では、午前中に英語	岳の授業, 午後に	ハワイ文化に関す	↑る授業 (フラダンス),		
	K	CC 学生との異文化交流。その他,	学外授業としてプラ	ンテーションヴィ	ィレッジ, イオラ	二宮殿, 真珠湾の見学。		
ļ	事	『後指導:帰国後に総括。						
成績評価の方法	担当教員が課し	」た課題(研修日誌・体験記)(50%	6) とハワイでの研	f修状況(50%) ¬	で評価する。			

	異文化コミュニケーション(中国語)	担当者	中国語担当教員全員				
授業科目	〔履修年次〕 1,2年いずれでも可	授業外対応	メールで事前連絡すること				
	〔学期〕 通年 〔単位〕 2	〔必修/選択〕	選択 〔授業形態〕	実習			
テーマ及び概要	【テーマ】生きた中国語の運用能力を高める。 【概要】南京農業大学国際教育学院で研修を行います。南京農業大学国際教育学院は、わたしたち県立短大と交流協定を結んでいる中国の大学です。この科目は、中国語研修と中国文化研修から成り立ちます。中国滞在期間中、基礎的な実用中国語を習得し、さらに、南京農業大学の学生と交流し、中国の文化習慣などについて直接体験します。中国語を用いて活動するため、あらかじめ「中国語 I」を受講または修得していることが履修条件になります。 ※2019 年度中国研修の実績 ・日程:9月7日(土)~21日(土)[15日間] ・参加者:11名(日本語日本文学専攻3名、英語英文学専攻4名、経済専攻1名、経営情報専攻2名、第二部商経学科1名) ・費用:約16万円(ビザ、往復航空券、授業料、宿泊費、南京市内・市外の見学費用など) 【到達目標】「国際化」の意味を自らの実体験を通して考え理解する。						
(1)テキスト	(1) 南京農業大学国際教育学院の	担当教員が指示しま	す。				
(2)参考文献	(2)						
授業スケジュール	事前指導 受講希望者に3~5回行います。   [1] 南京農業大学国際教育学院での研修内容の説明,   [2] 海外渡航に伴うさまざまな事柄の説明,   [3] 課題(レポート作成)の指示などです。   海外研修   休業期間に約2週間実施予定です。現地の大学で中国語の授業を受けます。そのほか、さまざまな活動を通じて中国の生活・文化に関する体験をします。さらに南京農業大学外国語学院日本語専攻の学生と交流します。   事後指導   帰国後に総括します。						
授業外学習(予習·復習)	適宜指示						
成績評価の方法	担当教員が課した課題 (50%), および中国	国での学習成果(509	%)を基に成績を算出します。				
実務経験について	なし						

	ドイツ語 I 担当者 竹内 宏						
授業科目	「履修年次」 1年 授業外対応 メールにて対応						
	〔学期〕 前 〔単位〕 1 〔必修/選択〕 選択 〔授業形態〕 演習						
	【テーマ】現在ヨーロッパでは、EU(ヨーロッパ連合、つまりヨーロッパの統一)という歴史的大実験が進行中で、ドイツ						
	はフランスとともにこの動きの中核をなす国の一つです。また、ドイツ語は1億2000万弱の母国語人口を擁し、ヨーロッパ						
	に限れば最大の言語と言うことができます。このように、社会的・文化的に大きな影響力を持つ現代ドイツの事情に関する話						
	を適宜盛り込みながら、ドイツ語を学習します。揺れるEUの行方、殺到する難民問題等のトピックも随時取り上げる予定で						
テーマ及び概要	す。						
	【概要】ほとんどの人にとっては初めて習う外国語ですが、「習うより慣れろ」をモットーに、授業は元気よく声を出して簡単						
	な練習を何度も繰り返すやり方で進めます。						
	【到達目標】1年間の学習で、自己紹介から日常生活の簡単な会話表現を身に付け、ドイツ語のしくみの概観を得ることが目						
	標です。						
(1)テキスト	(1) 荻野蔵平・Tobias Bauer 『青春はうるわし』 朝日出版社						
(2)参考文献	(2) 在間進 他『アクセス独和辞典』三修社						
	第 1回 ドイツ及びドイツ語圏について、文字、アルファベット						
	第 2回 綴り字と発音の規則、発音練習						
	第 3回 第1課 人称と動詞の現在人称変化、低動詞の位置、動詞 sein						
	第 4回 第1課						
	第 5回 第1課						
	第 6回 第2課 名詞の性、定冠詞と不定冠詞、名詞の格変化、動詞 haben						
1-5-1114	第 7回 第2課						
授業スケジュール	第 8回 第2課						
	第 9回 第3課 名詞の複数形と格変化、男性弱変化名詞						
	第10回 第3課						
	第11回 第4課 不規則動詞、命令形、人称代名詞、動詞 werden						
	第12回 第4課						
	第13回 第4課						
	第14回 これまでの復讐						
120111100	第15回 復習と試験の説明						
授業外学習(予習・復習)	1回の授業につき、予習1時間、復習1時間が必要						
成績評価の方法	筆記試験 80%、授業への参加状況 20%						
実務経験について	通訳(法廷通訳を含む)、翻訳経験多数						

## 英語英文学専攻のみ

	ドイツ語Ⅱ	担当者 竹内 宏
授業科目	〔履修年次〕 2年	授業外対応 メールにて対応
	〔学期〕 後期 〔単位〕 1	〔必修/選択〕 選択   〔授業形態〕  演習
テーマ及び概要	はフランスとともにこの動きの中核をなすに限れば最大の言語と言うことができますを適宜盛り込みながら、ドイツ語を学習しす。 【概要】ほとんどの人にとっては初めて習な練習を何度も繰り返すやり方で進めます	ローロッパ連合、つまりヨーロッパの統一)という歴史的大実験が進行中で、ドイツ国の一つです。また、ドイツ語は1億2000万弱の母国語人口を擁し、ヨーロッパで、このように、社会的・文化的に大きな影響力を持つ現代ドイツの事情に関する話います。揺れるEUの行方、殺到する難民問題等のトピックも随時取り上げる予定でとう外国語ですが、「習うより慣れる」をモットーに、授業は元気よく声を出して簡単で、いる日常生活の簡単な会話表現を身に付け、ドイツ語のしくみの概観を得ることが目
(1)テキスト	(1) 荻野蔵平・Tobias Bauer 『青	青春はうるわし』 朝日出版社
(2)参考文献	(2) 在間進 他『アクセス独和辞	典』三修社
授業スケジュール	第 6回 第6課 第 7回 第7課 分離動詞と非分離動 第 8回 第7課 第 9回 第7課 第 10回 第8課 話法の助動詞と未来 第 11回 第8課	類、否定の nicht と否定冠詞 kein 詞、副文、従属接続詞
授業外学習(予習·復習)	1回の授業につき、予習1時間、復習1時	間が必要
成績評価の方法	筆記試験80%,授業への参加状況20%	
実務経験について	通訳(法廷通訳を含む)、翻訳経験多数	

### 英語英文学専攻のみ

	フランス語		担当者	梁川 英俊		
授業科目	〔履修年次	文語英文学専攻は1年	授業外対応	授業終了後		
122711		次, 生活科学科は2年次				
	〔学期〕	前期 〔単位〕 1	[必修/選択]	選択(注)	[授業形態]	演習
	【テーマ】	フランス語の基礎を学びます。				
	【概要】フ	ランス語はフランスのみならす	゙, ベルギー, スイス	,カナダ,中東,	アフリカ諸国など広	い地域で話される国際語
	で、フラン	⁄ ス語を公用語とする国は28 丸	」国に及びます。 フラ	ンス語はまた国連	などの主要な国際機	関でも公用語として使用
テーマ及び概要		:す。同じラテン語から派生した				,
		:学ぶことにより学習が容易にな				
		来すると言われています。もち				
		!】まずフランス語の発音をきち				
(1)テキスト	(1)	いでしょう。外国語はこまめ		_′つこつやる省價を	と身につけましょう	!
(1)ラキスト (2)参考文献	(1)	『私だけのフランス語ノート 適宜指示する				
(2)参与关系	第 1回	週上旬小りる 授業全体の説明、アルファベ	… トの繋立わじ			
	第 2回	1文未主体の元列, / /レン / * Leçon 1	ツトの光日なこ			
	第 3回	Leçon 1				
	第 4回	Leçon 2				
	第5回	Leçon 2				
	第 6回	Leçon 3				
	第 7回	Leçon 3				
授業スケジュール	第 8回	Leçon 4				
	第 9回	Leçon 4				
	第10回	Leçon 5				
	第11回	Leçon 5				
	第12回	Leçon 6				
	第13回	Leçon 6				
	第14回	まとめ 1				
	第15回	まとめ 2				
授業外学習(予習·復習)	適宜指示					
成績評価の方法	筆記試験	(70%) +小テスト (30%)				

(注) 英語英文学専攻は1年次, 生活科学専攻は2年次

	フランス語 I	担当者	梁川 英俊		
授業科目	〔履修年次〕 英語英文学専攻は1年	授業外対応	授業終了後		
1又来行口	次,生活科学科は2年次				
	〔学期〕 後期 〔単位〕 1	[必修/選択]	選択(注)	[授業形態]	演習
	【テーマ】フランス語の基礎を学びます。				
	【概要】フランス語はフランスのみならす	゛, ベルギー, スイス	,カナダ,中東,アフ!	リカ諸国など広い	地域で話される国際語
	で、フラン ス語を公用語とする国は28 カ	国に及びます。 フラ	ンス語はまた国連などの	の主要な国際機関	関でも公用語として使用
テーマ及び概要	されています。同じラテン語から派生した	ニスペイン語, イタリ	ア語、ポルトガル語なる	どとの共通点も参	多く,これらの言葉はフ
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ランス語を学ぶことにより学習が容易にな	います。また歴史的	に英語に多くの語彙を挑	是供し, 英語の	語彙の 3 分の1はフラ
	ンス語に由来すると言われています。もち	ろん, ファッション	や料理を勉強する上でも	ケかせない言葉	葉 です
	【到達目標】まずフランス語の発音をきち				日常会話のフレーズも覚
	えれば楽しいでしょう。外国語はこまめ		こつこつやる習慣を身に	つけましょう!	
(1)テキスト	(1) 『私だけのフランス語ノート	』(朝日出版社)			
(2)参考文献	(2) 適宜指示する				
	第 1回 Leçon 7				
	第 2回 Leçon 7				
	第 3回 Leçon 8				
	第 4回 Leçon 8				
	第 5回 Leçon 9				
	第 6回 Leçon 9				
15016 - 1 x 2	第 7回 Leçon 10				
授業スケジュール	第 8回 Leçon 10				
	第 9回 Leçon 11				
	第10回 Leçon 11				
	第11回 Leçon 12				
	第12回 Leçon 12				
	第13回 まとめ 1				
	第14回 まとめ 2				
松米州宗弘(五四 /年四)	第15回 まとめ 3				
授業外学習(予習・復習) 成績評価の方法	適宜指示 筆記試験 (70%) +小テスト (30%)				
双傾計価の万法	革記説駅 (70%) 十小7 人下 (30%)				

<sup>(</sup>注) 英語英文学専攻は1年次,生活科学専攻は2年次

	中国語I	(A)		担当者	楊虹		
授業科目	〔履修年次	1年		授業外対応	適宜対応(要予約	j)	
	〔学期〕	前期	〔単位〕 1	〔必修/選択〕	選択(注)	〔授業形態〕	演習
テーマ及び概要	【概要】 この授 く学ぶ。 【到達目標	於親しむ。 業では,中国 さらに中国の	)音楽や映画などの	け, ロールプレイ, 映像, 留学生との交 方と綴り方がわかり	流活動を通して中国	国の社会や文化にも	
(1)テキスト	(1)	阿部慎太郎	3・紅粉芳恵『4つ	の場面から学ぶミニ	マル中国語』朝日出	版社	
(2)参考文献	(2)	授業中に紹	介する。				
授業スケジュール	(2) 授業中に紹介する。 第 1回 オリエンテーション: 授業の概要説明、中国語で自分の名前を言う練習 第 2回 発音 (1): 単母音と声調の導入、練習 第 3回 発音 (2): 複母音の導入、練習 第 4回 発音 (3): 子音の導入、練習 第 5回 発音 (4): 子音の練習、発音のまとめ 第 6回 動詞是の使い方 第 7回 好きなものの言い方、尋ね方。 第 8回 天気の話、挨拶 第 9回 相手をほめよう 第 10回 スケジュールを言う 第 11回 二つ以上の動詞からなる連動文 第 12回 経験の「過」の導入、練習 第 13回 留学生との交流: 中国人留学生と中国語で話してみる 第 14回 全体の復習 第 15回 まとめ						
授業外学習(予習·復習)	適宜小テス	トを実施する	るので、毎回復習が	必要である。			
成績評価の方法	小テスト	(40%) と中国	国に関する発表また	はレポート (10%),	, 口頭試験 (50%)	で評価する	
実務経験について							

(注) 日本語日本文学専攻、受講登録が30人を超えたときは、人数を制限する場合があります。

	中国語 I (B)     担当者     尾崎 孝宏
授業科目	〔履修年次〕 1年 授業外対応 〔履修年次〕
	〔学期〕  前期   〔単位〕  1    〔必修/選択〕  選択(注)   〔授業形態〕  演習
	【テーマ】中国語と中国について学ぶ(1)
	【概要】中国の経済発展にともない、今後は中国と交流する機会が増加すると思います。鹿児島は中国との距離も近く、旅行
ニーフ及び関西	や仕事で中国を訪れるチャンスが多くなることでしょう。そこで本授業では、一人で中国に行った場合でも、基本的なことに
テーマ及び概要	対応できるようになることを目指します。前期では特に発音を中心として、簡単な文型を学習します。また中国の文化や社会
ļ	に対する理解を深めるために、毎回10分程度のビデオを視聴します。
	【到達目標】中国語検定準4級程度(後期終了時の目標)
(1)テキスト	(1) 岩井伸子・胡興智著『できる・つたわる コミュニケーション中国語』(白水社)
(2)参考文献	(2) 辞書などについては授業時に指示します。
	第 1回 発音(1)
	第 2回 発音 (2)
	第 3回 発音(3)
	第 4回 名前を中国語で言う、覚えておきたい表現
	第 5回 「あいさつする」第1課
	第 6回 「名前を尋ねる」第2課
	第 7回 「食べたいものを尋ねる」第3課
授業スケジュール	第 8回 「近況を尋ねる」第4課
	第 9回 第1課~第4課の復習
	第10回 「予定を尋ねる」第5課
	第11回 「場所を尋ねる」第6課
	第12回 「注文する」第7課
	第13回 「値段の交渉をする」第8課
	第14回 試験対策練習
	第15回 まとめ
授業外学習(予習・復習)	予習として事前にテキストに目を通すことと、復習としてテキスト添付の音源を使った発音練習をすることが望ましい
成績評価の方法	期末試験(50%)、授業への貢献度(50%)
実務経験について	なし

- (注) 日本語日本文学専攻,英語英文学専攻
- (注) 受講登録が30人を超えたときは、人数を制限する場合があります。

	中国語 I ((	C)		担当者	尾崎 孝宏		
授業科目	〔履修年次	1年		授業外対応	〔履修年次〕		
	〔学期〕	前期	〔単位〕 1	〔必修/選択〕	選択(注)	〔授業形態〕	演習
テーマ及び概要	【概要】中 や仕事で に対応で 社会に対 【到達目標	国の経済発展 中国を訪れる きるようにな ける理解を済 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	チャンスが多くな ることを目指しま めるために、毎回 で、後期	ることでしょう。そ す。前期では特に発 10分程度のビデオを 終了時の目標)	こで本授業では、 音を中心として、 を視聴します。	一人で中国に行った 簡単な文型を学習し	国との距離も近く、旅行 場合でも、基本的なこと ます。また中国の文化や
(1)テキスト	(1)			・つたわる コミュ	ニケーション中国語	語』(白水社)	
(2)参考文献	(2)		ついては授業時に打	<b>計します。</b>			
授業スケジュール	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第1112回回回回回回回回	「あいさつ」 「名前を尋 「食べたい」 「近況を尋 第1課~第 「予定を尋 「場所を尋 「注文する	渉をする」第8課				
授業外学習(予習·復習)				と、復習としてテキ	スト添付の音源を	使った発音練習をす	ることが望ましい
成績評価の方法	期末試験	(50%)、授業^	への貢献度(50%)				
実務経験について	なし						

## (注) 経済専攻

(注) 受講登録が30人を超えたときは、人数を制限する場合があります。

	中国語 I (D)	担当者	三木夏華					
授業科目	〔履修年次〕 1年	授業外対応	受業終了時に対応					
	〔学期〕 前期 〔単位〕 1	〔必修/選択〕	選択(注)	[授業形態]	演習			
	【テーマ】テーマ】初めて中国語を学ぶ学生のための入門コース。							
İ	【概要】中国語で最も難しいとされる発音と	と声調をしっかりとマン	スターし、基本的な	文法事項を学ぶこ	とを目的とする。			
テーマ及び概要	【到達目標】							
	1 ピンイン、声調記号が読めるように	こなる。						
	2 自己紹介など簡単な会話能力を身(A	こつける。						
		., 30						
(1)テキスト	(1) 「しゃべっていいとも 中国語		短 例 火 去 茎					
(2)参考文献	(2) 授業で紹介する。	1] 刊 口 口 八八 八	<b>英、卸ルか 有</b>					
(2)参与文献	第 1回 発音、声調							
	第2回発音、声調							
	第3回発音、声調							
	第 4回 発音、声調							
	第5回人称代名詞、名前の言い方							
	第 6回 会話練習、ヒアリング							
	第 7回 "的"、"是" について							
授業スケジュール	第 8回 会話練習、ヒアリング							
	第 9回 動詞述語文、連動文							
	第10回 会話練習、ヒアリング							
	第11回 指示代名詞、"有"構文							
İ	第12回 会話練習、ヒアリング							
	第13回 "在"構文、方位詞							
	第14回 会話練習、ヒアリング							
	第15回 まとめ							
授業外学習(予習·復習)	前回学習した課を CD を聞いて必ず復習する	ること。重要フレーズ	は暗記すること。					
成績評価の方法	期末試験50%+授業での発言内容、出席館	態度、復習・課題の状況	况50%	-	-			
実務経験について	なし							

- (注) 経営情報専攻
- (注) 受講登録が30人を超えたときは、人数を制限する場合があります。

	中国語 I (E)	担当者中筋健吉
授業科目	〔履修年次〕 1年	授業外対応 メールで対応します。k9553471@kadai.jp
	〔学期〕 前期 〔単位〕 1	〔必修/選択〕 選択(注)  〔授業形態〕  演習
	【テーマ】初級中国語の学習を行います。	
	【概要】中国語Iではまず基本的な中国語の	発音を学び、その後テキストに従って文法、会話を勉強します。毎回小テストを
テーマ及び概要	行いますので、頑張ってください。なお、中	国事情や文化の理解のために、適宜中国文化紹介DVDや、期間中1回は中国映
	画を鑑賞する予定です。	
	【到達目標】中国語の基本的な発音の習得お	よび簡単な中国語の会話・読解・作文能力の習得をめざします。
(1)テキスト	(1) 寺西光輝『使って学ぶ!中国語:	コミュニケーション』 (朝日出版社)
(2)参考文献	(2)	
	第 1回 イントロダクション 中国語に	ついて教科書の使い方
	第 2回 発音篇(1) ピンイン、声調、	、母音、複合母音、子音
	第 3回 発音篇(2) 鼻母音、声調変例	化、発音まとめ
	第 4回 第0課 名前について話	<del>-</del>
	第 5回 第1課(1) 身分や出身につい	いて話す
	第 6回 第1課(2) 身分や出身につい	いて話す
	第 7回 第2課(1) 身の回りの物や	人について話す
授業スケジュール	第 8回 第2課(2) 身の回りの物や	人について話す
以来バランユール	第 9回 第3課(1) 年齡や学年、所	有について話す
	第10回 第3課(2) 年齢や学年、所	有について話す
	第11回 第4課(1) 時間や一日の行動	動について話す
	第12回 第4課(2) 時間や一日の行動	動について話す
	第13回 第5課(1) 性質や状態、天何	候について話す
	第14回 第5課(2) 性質や状態、天何	候について話す
	第15回 前期のまとめ	
	*スケジュールは授業進度その	他の状況によって変更することもあります。
授業外学習(予習·復習)	予習、復習ともに、教科書添付のCDの音声	資料をよく聞き、テキストの中国語文の音読、日本語訳を確認すること。
成績評価の方法	筆記試験(50%)+授業中に実施する小テス	ト(10%)+授業での発言内容(40%)但し状況により変更の可能性もあります。
実務の経験について		

## (注) 経済専攻, 経営情報専攻

(注) 受講登録が30名を超えた時は、受講制限をする場合があります。

	中国語 I	(F)		担当者	土肥 克己		
授業科目	〔履修年次	2年		授業外対応	メールで事前連絡	けること	
	〔学期〕	前期	〔単位〕 1	〔必修/選択〕	選択(注)	〔授業形態〕	演習方式
	【テーマ】	単語で作文 I					
İ	【概要】1	回に25個ほど	どの単語を覚えてき	てもらい, それを使	もって作文をします。	基本的に単純な文	てだけにして、書かずに口
テーマ及び概要	頭で答えて	みましょう。	短い文がぱっと口	から出るようになれ	ば、外国語もそれば	ほど難しくはないも	のです。
	【到達目標	】中国語検定	(準4級,漢語水平)	考試 HSK 筆記 1 級	程度に1年間の語学	生標レベルを設定	こします。 前期はその前半
	部分の学習	に当てます。					
(1)テキスト	(1)	プリントを	配布します。				
(2)参考文献	(2)	関西大学中	国語教材研究会編	『中国語検定徹底対	策準4級』アルク		
	第 1回	授業の進め	方について				
	第 2回	声調と母音					
	第 3回	子音					
	第 4回	発音のまと	め				
	第 5回	表記の規則					
	第 6回	クラス名簿	, あいさつ (1)				
	第 7回	クラス名簿	<b>,</b> あいさつ (2)				
授業スケジュール	第 8回	数字、お金	,時刻(1)				
	第 9回	数字、お金	; 時刻 (2)				
	第10回	数字、お金	; 時刻 (3)				
	第11回	簡単な動詞	の文 (1)				
	第12回	簡単な動詞	の文 (2)				
	第13回	意思表示,	誘いかけ (1)				
	第14回	意思表示,	誘いかけ (2)				
	第15回	まとめ					
授業外学習(予習·復習)	筆記の小テストを毎回実施するので予習してきてください。						
成績評価の方法	作文と小テ	スト50%, 5	定期試験 50%				
実務経験について	なし						

## (注) 食物栄養専攻

(注) 受講登録が30人を超えたときは、人数を制限する場合があります。

	中国語 I (G)	担当者中筋健吉							
授業科目	〔履修年次〕 1年,2年(注)	授業外対応 メールで対応します。k9553471@kadai.jp							
	〔学期〕 前期 〔単位〕	1 〔必修/選択〕 選択(注) 〔授業形態〕 演習							
	【テーマ】初級中国語の学習を行います。								
	【概要】中国語 I ではまず基本的な中国	語の発音を学び、その後テキストに従って文法、会話を勉強します。毎回小テストを							
テーマ及び概要	なび概要 行いますので、頑張ってください。なお、中国事情や文化の理解のために、適宜中国文化紹介DVDや、期間中1								
	画を鑑賞する予定です。								
	【到達目標】中国語の基本的な発音の習	得および簡単な中国語の会話・読解・作文能力の習得をめざします。							
(1)テキスト	(1) 寺西光輝『使って学ぶ!中	国語コミュニケーション』(朝日出版社)							
(2)参考文献	(2)								
	第 1回 イントロダクション 中国	語について 教科書の使い方							
	第 2回 発音篇(1) ピンイン、	声調、母音、複合母音、子音							
	第 3回 発音篇(2) 鼻母音、声	調変化、発音まとめ							
	第 4回 第0課 名前につい	て話す							
	第 5回 第1課(1) 身分や出身	第 5回 第1課(1) 身分や出身について話す							
	第 6回 第1課(2) 身分や出身	について話す							
	第 7回 第2課(1) 身の回りの	物や人について話す							
授業スケジュール	第 8回 第2課(2) 身の回りの	物や人について話す							
10米パランユール	第 9回 第3課(1) 年齢や学年	、所有について話す							
	第10回 第3課(2) 年齢や学年	、所有について話す							
	第11回 第4課(1) 時間や一日	の行動について話す							
	第12回 第4課(2) 時間や一日	の行動について話す							
	第13回 第5課(1) 性質や状態	、天候について話す							
	第14回 第5課(2) 性質や状態	、天候について話す							
	第15回 前期のまとめ								
	*スケジュールは授業進度	その他の状況によって変更することもあります。							
授業外学習(予習·復習)	. , , ,	一声ファイルをよく聞き、テキストの中国語文の音読、日本語訳を確認すること。							
成績評価の方法	筆記試験(50%)+授業中に実施する小	テスト(10%)+授業での発言内容(40%)但し状況により変更の可能性もあります。							
実務の経験について	DIA FEW. UNITY WEED LO FEW.								

- (注) 日本語日本文学専攻は1年次, 生活科学専攻は2年次
- (注) 受講登録が30名を超えた時は、受講制限をする場合があります。

	中国語 I (H)	担当者 陳 躍
授業科目	〔履修年次〕 1年,2年(注)	授業外対応 授業終了後及びメールによる(アドレスは講義中に告知)
	〔学期〕 前期 〔単位〕 1	〔必修/選択〕 選択(注)  〔授業形態〕  演習
テーマ及び概要	がその中身である。文化を言葉と平行しては文化や事情を語る。中国の映画を数回鑑 あり方を随時修正する。	:考える。会話は頭より口を使い、説明を聞くより真似て練習する。言葉は形で文化 学んでいくのが最速な方法だと考える。90分のうち、70分程度練習し、残りの時間 賞する。授業毎に感想を書いてもらい、参考にする。希望に応えるように、授業の で考試HSK筆記1級程度。前期はその前半部分の学習に当てる
(1)テキスト (2)参考文献	(1)       テキスト①『楽しい中国』 刊         (2)       ①関西大学中国語教材研究会         ②『恋文の翻訳―日中往来』	編「中国語検定徹底対策準四級」アルク
授業スケジュール	第 1回 我是上海人 第 2回 我叫王平 第 3回 这里是南京路 第 4回 现在几点了? 第 5回 今天是星期几? 第 6回 你家有几口人? 第 7回 没关系(映画) 第 8回 香港的夏天热吗?(映画) 第 9回 四川菜很好吃 (中間テスト) 第 10回 群经常散步 第 11回 牌价是多少? 第 12回 汉语难不难? 第 13回 我没吃蒜 第 14回 我想去超市 第 15回 まとめ	
授業外学習(予習·復習)	適宜指示	
成績評価の方法	評価割合を定期試験50%にする。 残り	) 50%の評価は小テストとレポートにする

- (注) 文学科・商経学科は1年次,生活科学科は2年次
- (注) 受講登録が30人を超えたときは、人数を制限する場合があります。

	中国語 II (A)			担当者	楊虹			
授業科目	〔履修年次〕	1年		授業外対応	適宜対応(要予	·約)		
	〔学期〕  後	後期 〔単位〕	1	〔必修/選択〕	選択(注)	[授業形態]	演習	
	【テーマ】							
	中国語に	よるコミュニケーショ	ンに慣	れる。				
İ	【概要】							
テーマ及び概要	この授業で	では、中国語Ιを履修	した受	講生を対象としてい	る。前期の内容を	:復習しつつ, 引き続	き中国語の基本構文を導	
/ 一マ及い帆安	入し, 中国	語を聞いて、話す力を	伸ばす	。さらに、中国の音	楽や映画などの映	像、留学生との交流	活動を通して中国の社会	
	や文化にも	触れる。						
	【到達目標】							
	学習を進	める上での基礎的知識	を有し	,中国語による家族	構成の紹介や,簡	i単な買い物ができる	'o	
(1)テキスト	(1) ßi	可部慎太郎・紅粉芳恵	『4つ	の場面から学ぶミニー	マル中国語』朝日	出版社		
(2)参考文献	(2) 哲	受業中に紹介する。						
	第 1回 ス	ナリエンテーション : 丼	受業の	既要説明,前期の復習	3			
	第 2回 原	顧望「想」の導入,練習	3					
		カ詞「有」の導入,練習						
		「有」と「在」の応用総						
		できるの「会」の導入,	練習					
		買い物に関する表現①						
10000		買い物に関する表現②						
授業スケジュール		これまでの内容の復習	- 144	- A-677				
		道案内と前置詞の「在」 ###の見の言いすの	(/)""	人,練習				
		第 10 回 時間の量の言い方①						
		特間の量の言い方② 特間の量の言い方③						
		研削の重の言い方③ 記点や終点を表す前置記	司の道	7. した国羽				
		とはい後習	叩り等。	八乙脒白				
	第 14 回   全体の復音       第 15 回   まとめ							
   授業外学習(予習・復習)		たこの を実施するので、毎回	复習が	必要である。				
成績評価の方法		%) と中国に関するレ			(50%) で評価す	 る		
実務経験について	. (10	,,, = 1 = 1, 1, 2, 3	•	/ . /				
<del></del>								

(注) 日本語日本文学専攻、受講登録が30人を超えたときは、人数を制限する場合があります。

	中国語II (B)	担当者 尾崎 孝宏						
授業科目	〔履修年次〕 1年	授業外対応 〔履修年次〕						
	〔学期〕 後期 〔単位〕	1 [必修/選択] 選択(注) [授業形態] 演習						
	【テーマ】中国語と中国について学ぶ	. (2)						
	【概要】中国の経済発展にともない、	今後は中国と交流する機会が増加すると思います。鹿児島は中国との距離も近く旅行や						
	仕事で中国を訪れるチャンスが多くな	ることでしょう。そこで本授業では、一人で中国に行った場合でも基本的なことに対応						
テーマ及び概要	できるようになることを目指します。	後期では、日常的に良く使う文型を中心に、表現の幅を広げます。また前期に引き続き						
	毎回中国の文化や社会に関するビデオ	を視聴します。						
İ	【到達目標】中国語検定準4級程度(	後期終了時の目標)						
(1)テキスト	(1) 岩井伸子・胡興智著『で	きる・つたわる コミュニケーション中国語』(白水社)						
(2)参考文献	(2) 辞書などについては授業	時に指示します。						
	第 1回 第5課~第8課の復習							
	第 2回 「出来事を尋ねる1」第9	第 2回 「出来事を尋ねる1」第9課						
	第 3回 「出来事を尋ねる2」第10課							
	第 4回 「希望を尋ねる」第11課							
	第 5回 「行き方を尋ねる」第12課							
	第 6回 「経験を尋ねる」第13課							
	第 7回 第9課~第13課の復習							
授業スケジュール	第 8回 「相手の都合を尋ねる」第14課							
	第 9回 「比較する」第15課							
	第10回 「条件・情報を尋ねる」	第16課						
	第11回 「進行状況を尋ねる」第	17課						
	第12回 「別れを告げる」第18調							
	第13回 第14課~第18課の復習							
	第14回 試験対策練習							
	第15回 まとめ							
授業外学習(予習·復習)	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	ことと、復習としてテキスト添付の音源を使った発音練習をすることが望ましい						
成績評価の方法	期末試験(50%)、授業への貢献度(50	%)						
実務経験について	なし							

<sup>(</sup>注) 日本語日本文学専攻, 英語英文学専攻

<sup>(</sup>注) 受講登録が30人を超えたときは、人数を制限する場合があります。

	中国語 I (C)	担当者	尾崎 孝宏					
授業科目	〔履修年次〕 1年	授業外対応	〔履修年次〕					
	〔学期〕 後期 〔単位〕 1	[必修/選択]	選択(注)	[授業形態]	演習			
	【テーマ】中国語と中国について学ぶ(2)							
	【概要】中国の経済発展にともない、今後	は中国と交流する機	会が増加すると思いまっ	け。 鹿児島は中国 と	との距離も近く旅行や			
	仕事で中国を訪れるチャンスが多くなるこ	とでしょう。そこで	本授業では、一人で中国	国に行った場合です	5基本的なことに対応			
テーマ及び概要	できるようになることを目指します。後期	では、日常的に良く	使う文型を中心に、表現	見の幅を広げます。	また前期に引き続き			
	毎回中国の文化や社会に関するビデオを視	聴します。						
	【到達目標】中国語検定準4級程度(後期	終了時の目標						
(1)テキスト	(1) 岩井伸子・胡興智著『できる	・つたわる コミュニ	ニケーション中国語』(	白水社)				
(2)参考文献	(2) 辞書などについては授業時に	指示します。	_					
	第 1回 第5課~第8課の復習							
	第 2回 「出来事を尋ねる1」第9課							
	第 3回 「出来事を尋ねる2」第10課							
	第 4回 「希望を尋ねる」第11課							
	第 5回 「行き方を尋ねる」第12課	第 5回 「行き方を尋ねる」第12課						
	第 6回 「経験を尋ねる」第13課							
	第 7回 第9課~第13課の復習							
授業スケジュール	第 8回 「相手の都合を尋ねる」第14	課						
	第 9回 「比較する」第15課							
	第10回 「条件・情報を尋ねる」第16	課						
	第11回 「進行状況を尋ねる」第17課	R						
	第12回 「別れを告げる」第18課							
	第13回 第14課~第18課の復習							
	第14回 試験対策練習							
	第15回 まとめ							
授業外学習(予習·復習)	予習として事前にテキストに目を通すこと	と、復習としてテキ	スト添付の音源を使った	た発音練習をするこ	ことが望ましい			
成績評価の方法	期末試験(50%)、授業への貢献度(50%)							
実務経験について	なし							

## (注) 経済専攻

(注) 受講登録が30人を超えたときは、人数を制限する場合があります。

	中国語I(I	O)		担当者	三木夏華				
授業科目	〔履修年次〕	1年		授業外対応	授業終了時に対応				
	〔学期〕	後期	〔単位〕 1	〔必修/選択〕	選択(注)	[授業形態]	演習		
テーマ及び概要	【テーマ】前期の中国語 I に続く入門コース。  【概要】前期に引き続き、中国語の発音要領と中国語文法の基礎をマスターする。 道の尋ね方、買い物の仕方など、日常生活で不可欠な表現を身につける。  【到達目標】中国語検定準4級,漢語水平考試HSK筆記1級のレベルにまで到達することを目標とする。								
(1)テキスト	(1)	「しゃべっ	ていいとも 中国	語」朝日出版社 陳江	叔梅、劉光赤 著				
(2)参考文献	(2)	授業で紹介	する。						
授業スケジュール	第 6回 第 7回 第 8回 第 9回 第 11回 第 12回 第 13回	(2) 授業で紹介する。 第 1回 数の言い方、中国のお金の言い方、値段の尋ね方 第 2回 会話練習、ヒアリング 第 3回 値段の尋ね方、年月日、曜日の言い方 第 4回 会話練習、ヒアリング 第 5回 年齢の言い方、量詞、動詞の重ね型 第 6回 会話練習、ヒアリング 第 7回 時刻の言い方、語気助詞の"了" 第 8回 会話練習、ヒアリング 第 9回 時間の長さの言い方、完了の"了" 第 10回 会話練習、ヒアリング 第 11回 前置詞、助動詞 1 第 12回 会話練習、ヒアリング 第 13回 動詞の進行を表す表現、助動詞 2							
授業外学習(予習·復習)	前回学習した	た課を CD を	聞いて必ず復習す	ること。重要フレー	ズは暗記すること。				
成績評価の方法	期末試験 5	0%+授業で	の発言内容、出席	態度、復習・課題の	状況50%				
実務経験について	なし								

## (注) 経営情報専攻

(注) 受講登録が30人を超えたときは、人数を制限する場合があります。

	中国語Ⅱ(E) 担当者	中筋健吉
   授業科目	「履修年次」 1年 授業外対	1.77
	[学期] 後期 [単位] 1 [必修/	
	【テーマ】初級中国語の学習を行います。	
	【概要】中国語   で培った初級の中国語力をさらにステ	ップアップさせるべく、テキストに従って、さまざまな文法、会話の
テーマ及び概要	10012	今期も適宜中国文化紹介DVDや中国映画(1回)を鑑賞します。
	【到達目標】中国語の基本的な発音の習得および簡単な	中国語の会話・読解・作文能力の習得をめざします。
(1)テキスト	(1) 寺西光輝『使って学ぶ!中国語コミュニケー	ーション』(朝日出版社)
(2)参考文献	(2)	
	第 1回 第6課(1) 趣味や好み、できることにて	ついて話す
	第 2回 第6課(2) 趣味や好み、できることにつ	ついて話す
	第3回 第7課(1) 住んでいる場所や家族につい	て話す
	第 4回 第7課(2) 住んでいる場所や家族につい	て話す
	第 5回 第8課(1) 場所や存在について話す	
	第 6回 第8課(2) 場所や存在について話す	
	第 7回 第9課(1) 交通手段や希望について話す	
	第8回 第9課(2) 交通手段や希望について話す	
授業スケジュール	第 9回 第10課(1)動作の発生や進行について記	舌す
	第10回 第10課(2) 動作の発生や進行について記	話す
	第11回 第11課(1) 過去の出来事や値段につい	に話す
	第12回 第11課(2) 過去の出来事や値段につい	て話す
	第13回 中国映画鑑賞+中国映画の中国語	
	第14回 中国映画鑑賞+中国映画の中国語	
	第15回 授業まとめ	
	*スケジュールは授業進度その他の状況に。	にって変更することもあります。
授業外学習(予習・復習)	マ羽 復羽しまた 数科事活件のCD の立声次虹は、トノ	聞き、テキストの中国語文の音読、日本語訳を確認すること。
「技業外子智(ア智・復智) 成績評価の方法		聞き、ケキストの中国語文の音流、日本語訳を確認すること。 -授業での発言内容(40%) 但し状況により変更の可能性もあります。
実務の経験について	本に呼吸 (30%) 十分末中に夫肥 9 る小7 スト (10%) -	「仮来で少年百円谷(40%)但し仏依により変更の可能性もあります。
大物の発売について		

- (注) 経済専攻, 経営情報専攻
- (注) 受講登録が30名を超えた時は、受講制限をする場合があります。

	中国語Ⅱ	(F)		担当者	土肥 克己		
授業科目	〔履修年次	〕 2年		授業外対応	メールで事前連	絡すること	
	〔学期〕	後期	〔単位〕 1	〔必修/選択〕	選択(注)	〔授業形態〕	演習方式
テーマ及び概要	【概要】1 頭で答えて 【到達目標 部 分の学習に	みましょう。 <del>「</del> 】中国語検定	長い作文は文法的に	に間違えやすいです	がそれは気にせず,	相手に気持ちを伝	して,基本的に書かずに口 えることを大切にします。 Eします。後期はその後半
(1)テキスト	(1)	プリントを西					
(2)参考文献	(2)			『中国語検定徹底対象	策準4級』アルク		
授業スケジュール	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第111111111111111		意向確認 (2) ? だれ? (1) ? だれ? (2) 発間 (1) 瞬間 (2) 冒 (1)				
授業外学習(予習·復習)	71 1 .		施するので予習し	てきてください。			
成績評価の方法	作文と小テ	スト50%, 定	期試験 50%	-			
実務経験について	なし						

- (注) 食物栄養専攻
- (注) 受講登録が30人を超えたときは、人数を制限する場合があります。

	中国語 II (G) 担当者 中筋 健吉
授業科目	「履修年次」 1年, 2年(注) 授業外対応 メールで対応します。k9553471@kadai.jp
	[学期] 後期 [単位] 1 [必修/選択] 選択(注) [授業形態] 演習
	【テーマ】初級中国語の学習を行います。
— T ~ 124mm ==	【概要】中国語Ⅰで培った初級の中国語力をさらにステップアップさせるべく、テキストに従って、さまざまな文法、会話の
テーマ及び概要	パターンを習得します。 小テストも同様に毎回行います。 今期も適宜中国文化紹介DVDや中国映画(1回)を鑑賞します。
	【到達目標】中国語の基本的な発音の習得および簡単な中国語の会話・読解・作文能力の習得をめざします。
(1)テキスト	(1) 寺西光輝『使って学ぶ!中国語コミュニケーション』(朝日出版社)
(2)参考文献	(2)
	第 1回 第6課(1) 趣味や好み、できることについて話す
	第 2回 第6課(2) 趣味や好み、できることについて話す
	第 3回 第7課(1) 住んでいる場所や家族について話す
	第 4回 第7課(2) 住んでいる場所や家族について話す
	第 5回 第8課(1) 場所や存在について話す
	第 6回 第8課(2) 場所や存在について話す
	第 7回 第9課(1) 交通手段や希望について話す
	第 8回 第9課(2) 交通手段や希望について話す
授業スケジュール	第 9回 第10課(1) 動作の発生や進行について話す
	第10回 第10課(2) 動作の発生や進行について話す
	第11回 第11課(1) 過去の出来事や値段について話す
	第12回 第11課(2) 過去の出来事や値段について話す
	第13回 中国映画鑑賞+中国映画の中国語
	第14回 中国映画鑑賞+中国映画の中国語
	第15回 授業まとめ
	*スケジュールは授業進度その他の状況によって変更することもあります。
授業外学習(予習·復習)	予習、復習ともに、教科書添付のCDの音声資料をよく聞き、テキストの中国語文の音読、日本語訳を確認すること。
成績評価の方法	筆記試験(50%)+授業中に実施する小テスト(10%)+授業での発言内容(40%)但し状況により変更の可能性もあります。
実務の経験について	)よ1 / TV /

- (注) 日本語日本文学専攻は1年次, 生活科学専攻は2年次
- (注) 受講登録が30名を超えた時は、受講制限をする場合があります。

	中国語I(H)	担当者 陳 躍					
授業科目	〔履修年次〕 1年,2年(注)	授業外対応 授業終了後、メールによる(アドレスは講義中に告知)					
	〔学期〕 後期 〔単位〕 1	〔必修/選択〕 選択(注) 〔授業形態〕 演習					
テーマ及び概要	がその中身である。文化を言葉と平行して は文化や事情を語る。中国の映画を数回鑑 あり方を随時修正する。	:考える。会話は頭より口を使い、説明を聞くより真似て練習する。言葉は形で文化 学んでいくのが最速な方法だと考える。90分のうち、70分程度練習し、残りの時間 賞する。授業毎に感想を書いてもらい、参考にする。希望に応えるように、授業の で考試HSK筆記1級程度。後期はその後半部分の学習に当てる。					
(1)テキスト (2)参考文献	004000000000000000000000000000000000000	編「中国語検定徹底対策準四級」アルク					
授業スケジュール	(2) ①関西大学中国語教材研究会編「中国語検定徹底対策準四級」アルク ②『恋文の翻訳―日中往来』陳曜著 南日本新聞社  第 1回 来我家玩吧 第 2回 我打算去旅行 第 3回 没看过,听过 第 4回 我能参加 第 5回 我记一下 第 6回 我们边走边谈 第 7回 好像借给小李了(中間テスト) 第 8回 我不会打日文(映画) 第 9回 你知道号码吗?(映画) 第 10回 什么都可以 第 11回 被谁偷走了呢? 第 12回 让你久等了 第 13回 有没有单间? 第 14回 我说得不好 第 15回 まとめ						
授業外学習(予習·復習)	筆記の小テストを毎回実施するので予習し	てきてください。					
成績評価の方法	評価割合を定期試験50%にする。 残り	50%の評価は小テストとレポートにする					

- (注) 文学科・商経学科は1年次, 生活科学専攻は2年次
- (注) 受講登録が30人を超えたときは、人数を制限する場合があります。

	中国語Ⅲ				担当者	楊虹				
授業科目	〔履修年次	2年			授業外対応	適宜対応(要子	納)			
	〔学期〕	前期	〔単位〕	1	[必修/選択]	選択(注)	[授業形態]	演習		
		【テーマ】 中国語の体系を把握する。								
	【概要】									
テーマ及び概要	・ハダギは 中国語 I・IIを履修] た受護生を対象とする 中国語絵定試験 / 級程度の語彙 文法の獲得を目指						とを目的に、グループで			
(1)テキスト	(1)	プリントを	配布する。							
(2)参考文献	` ′									
授業スケジュール	(2) 授業中に紹介する。 (2) 授業中に紹介する。 第 1回 オリエンテーション: 授業の概要説明および1年次に習った内容の復習 第 2回 年齢の言い方と尋ね方 第 3回 前置詞「在」(~で~をする)の導入,練習 第 4回 完了の「了」の導入,練習 第 5回 時間量の言い方の導入,練習 第 6回 文末詞「了」の導入,練習 第 7回 場所の言い方の導入,練習 第 7回 場所の言い方の導入,練習 第 8回 必要の「得」:「ねばならない」を表す助動詞「得」の導入,練習 第 9回 これまでの復習:これまで習った内容の復習を行う。 第 10回 中国語で寸劇①:シナリオの作成 第 11回 中国語で寸劇②:シナリオの修正 第 12回 中国語で寸劇②:シナリオの決定,台本を読む練習 第 13回 中国語で寸劇④:台本を読む練習,通し稽古 第 14回 中国語で寸劇③:発表									
授業外学習(予習・復習)	適宜小テス	トを実施する	ので、毎回復	習がす	ど要である。					
成績評価の方法	小テスト(	50%),口頭語	式験(50%)で	で評価	<b>計</b> る					
実務経験について										

### 生活科学科を除く

	中国語IV				担当者	土肥 克己		
授業科目							ケー・ファー	
1文来作日	〔履修年次		()74(1-)	. └	授業外対応	メールで事前連絡	-	> <del></del>
	〔学期〕	後期	· · · · · ·	1	〔必修/選択〕	選択(注)	〔授業形態〕	演習方式
テーマ及び概要	【概要】中 予習・復習	してから受諱	・ ・ラマの台本を読			自然な会話文を学/ 2級程度に半年間の		ご重視しますので、十分に 設定します。
(1)テキスト	(1)	プリントを	配布します。					
(2)参考文献	(2)							
授業スケジュール	第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	授発音のの(1) (2) 講読読読読講読読講読読講読読講読読読読読読読読読読読読読読読読読読読読読読	(1) (2) (3)					
授業外学習(予習·復習)	中国語の原	文と発音をフ	プリントにして事	手前に酉	こ布するので予習	・復習をしてきてく	ください。	
成績評価の方法	予習と発表	100%。定期	試験は実施しま	ミせん。				
実務経験について	なし							

<sup>(</sup>注) 生活科学科を除く